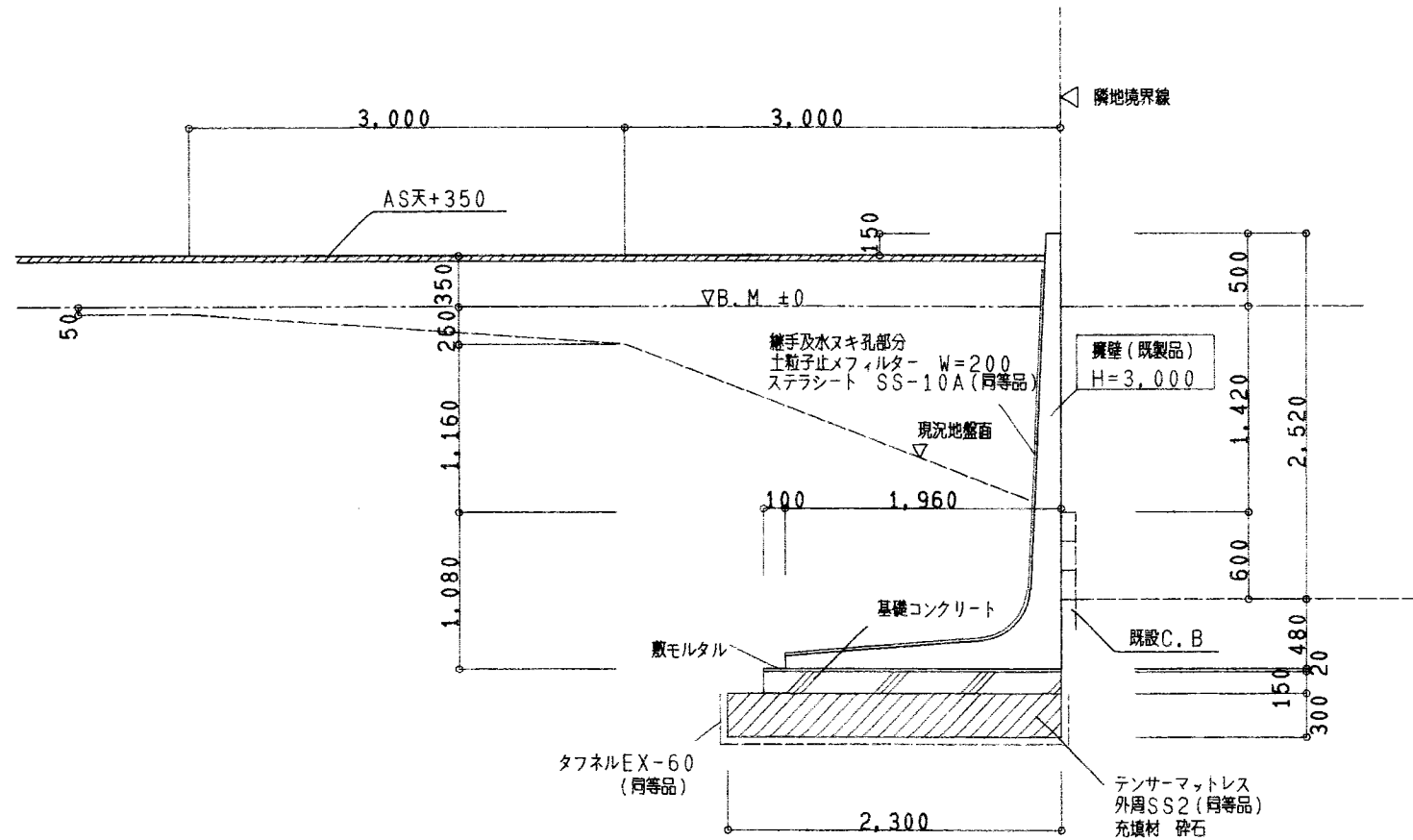
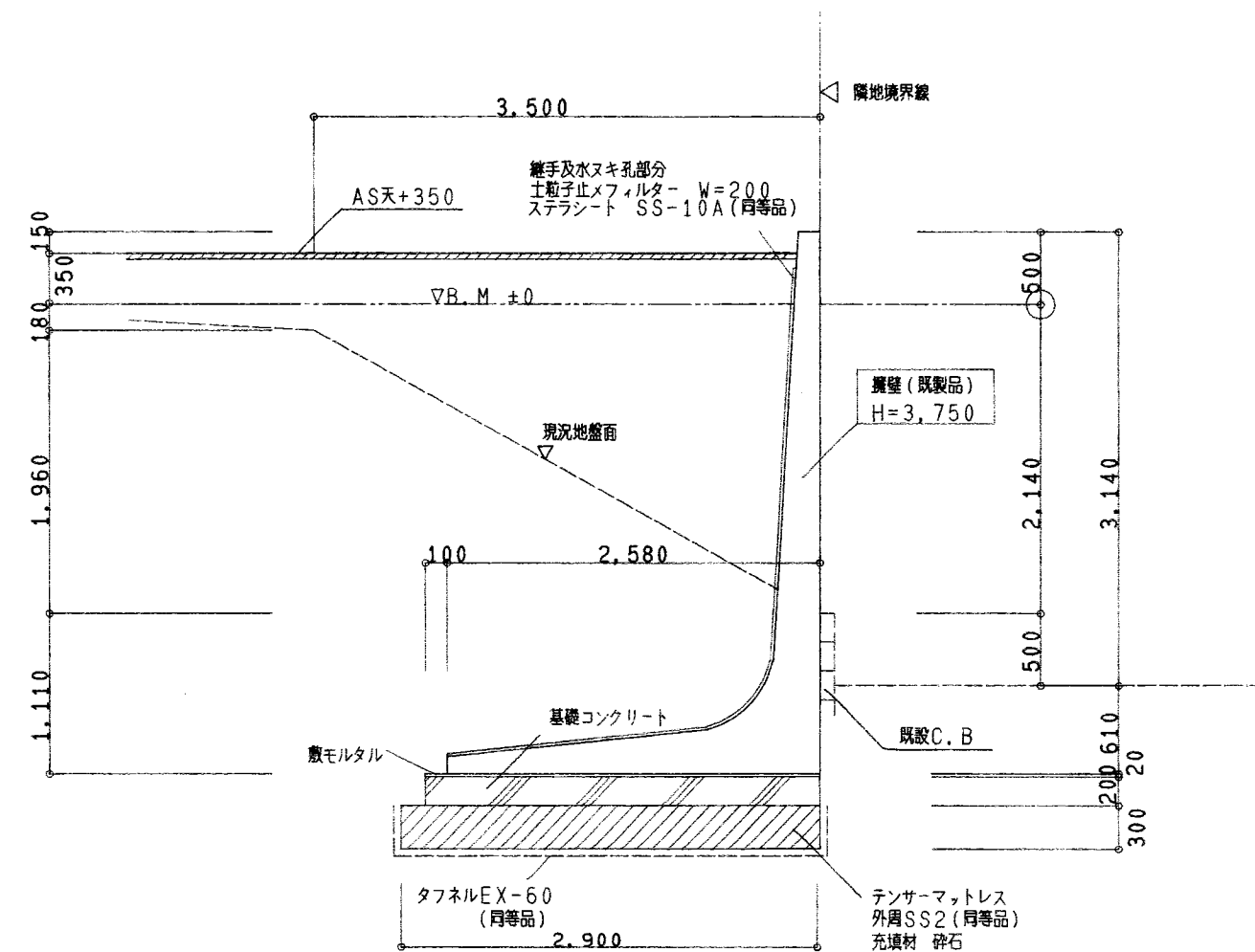


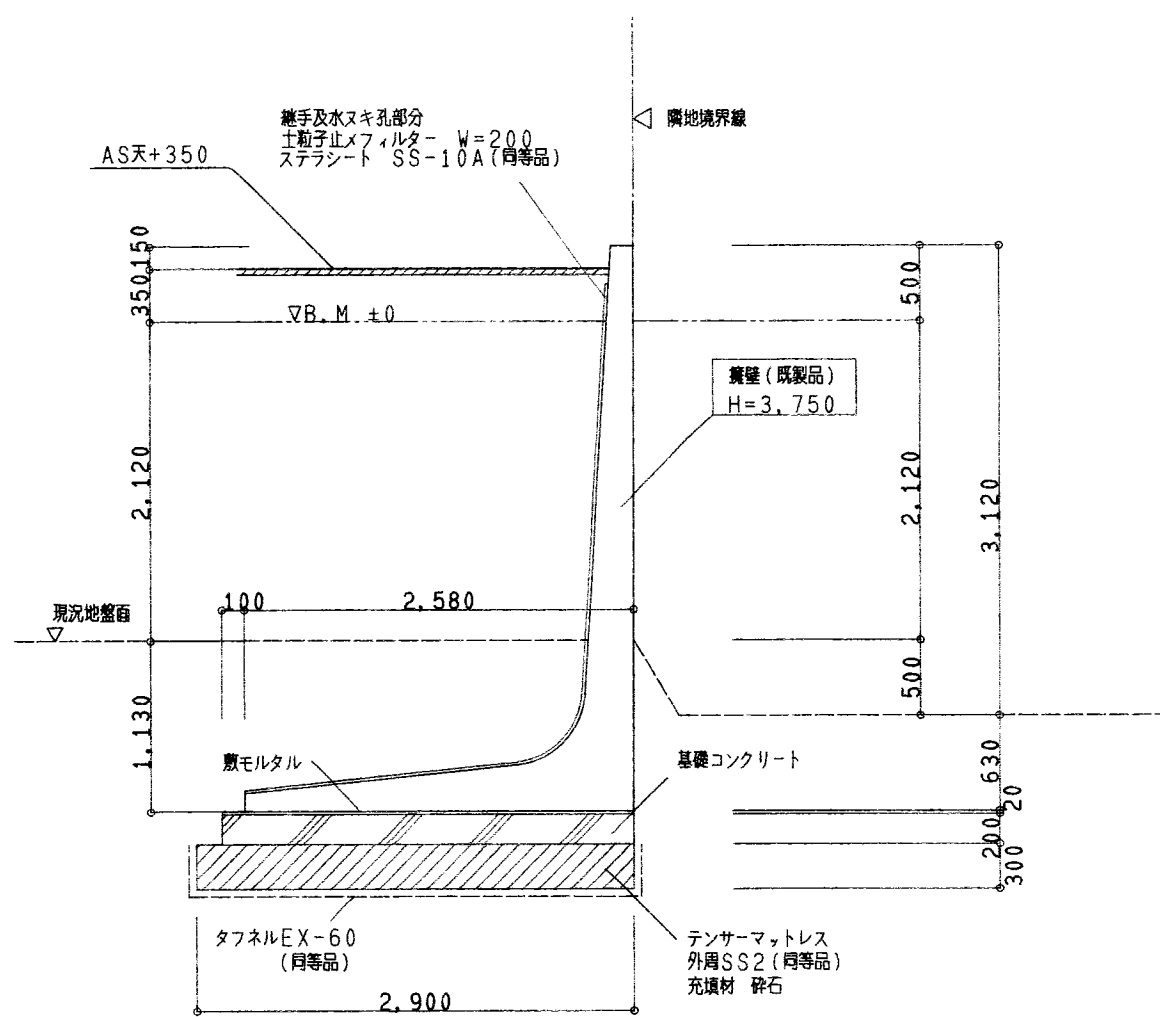
(A) 断面図 1/50



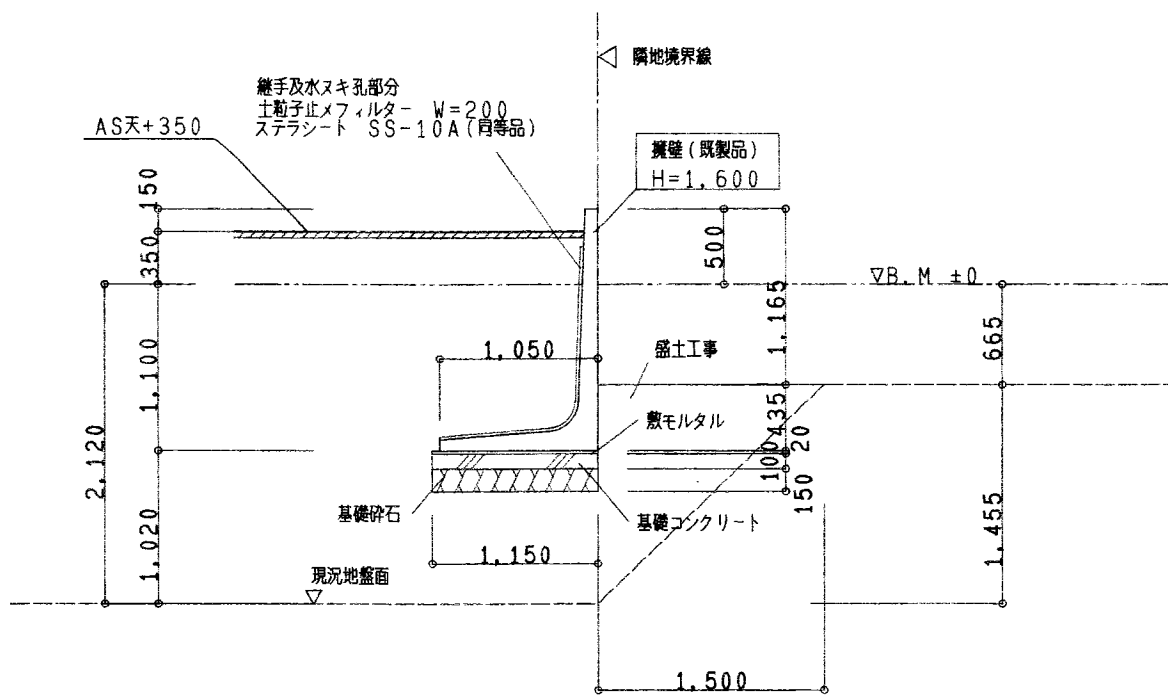
(B) 断面図 1/50



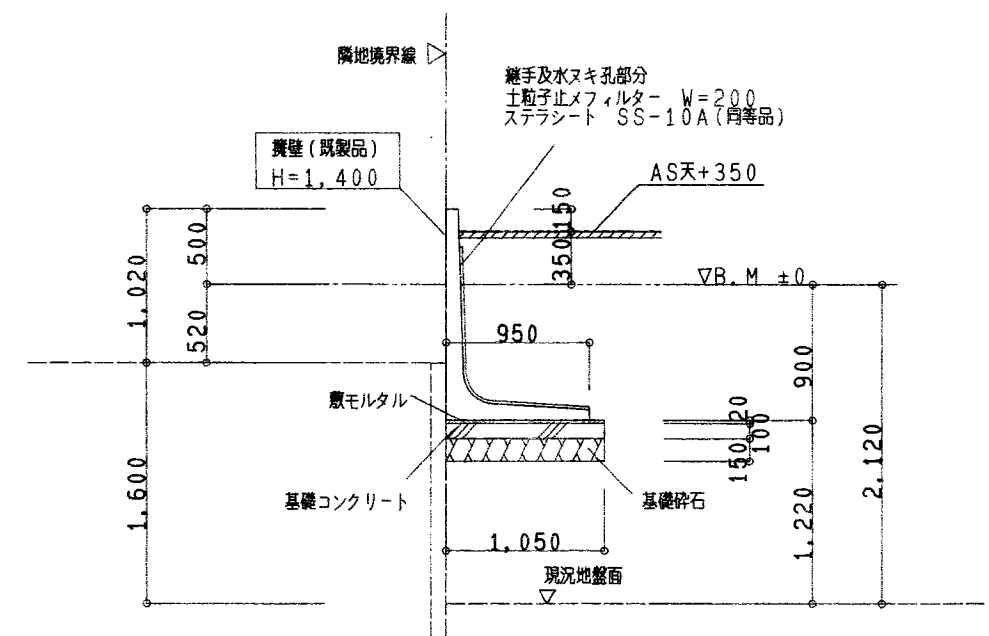
(C) 断面図 1/50



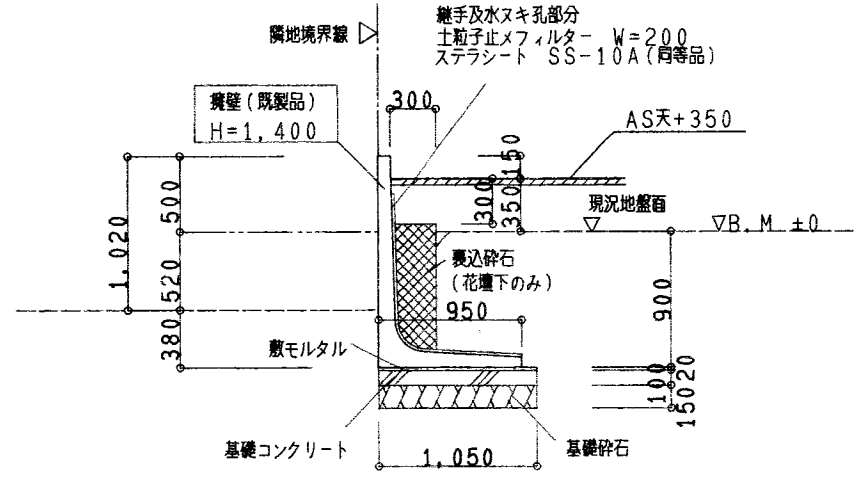
(D) 断面図 1/50



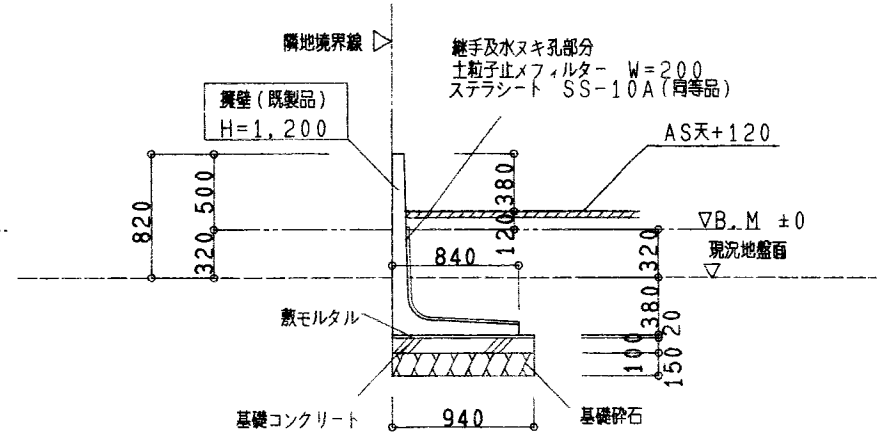
(E) 断面図 1/50



(F) 断面図 1/50

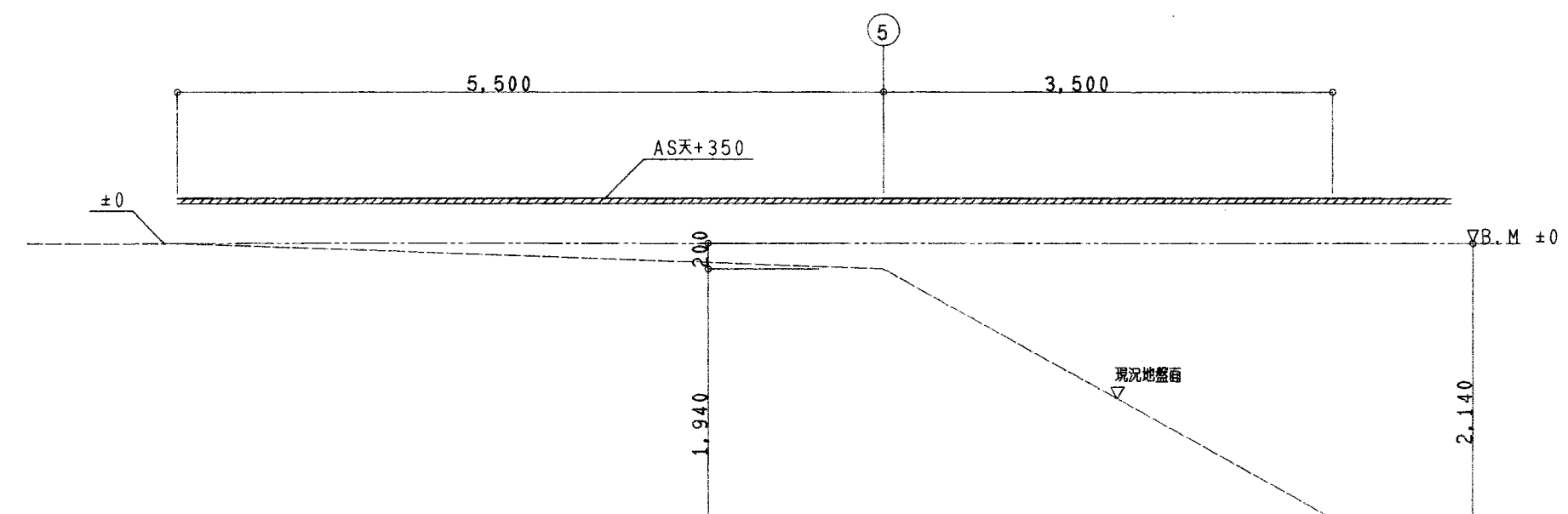


(G) 断面図 1/50



(H) 断面図 1/50

※ 擁壁：ニューウェール
(標準タイプ) 同等品



(I) 断面図 1/50

特記なき限り下記による。

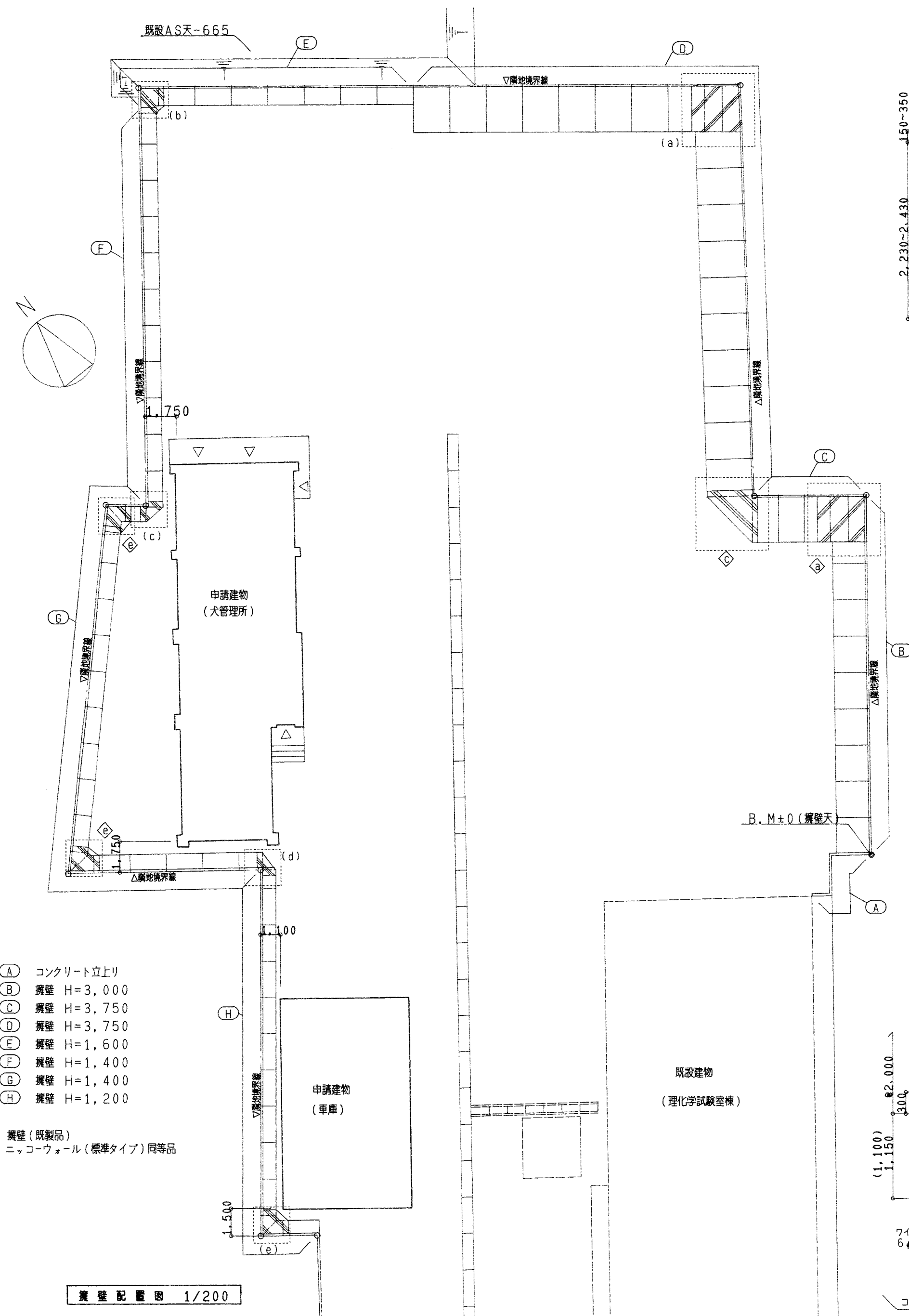
コンクリート	F ₀ =160Kg/cm ²	基礎コンクリート

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
株式会社 足立建築設計事務所
境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印	担当	作図	作図	5 年 8 月 日
				SCALE 1/50

工事名	米子保健所犬管理所新築等工事
図面名	外構図(2) 擁壁断面図

平成 5 年
部 局
01
コードNo
180105
図 番
A-16

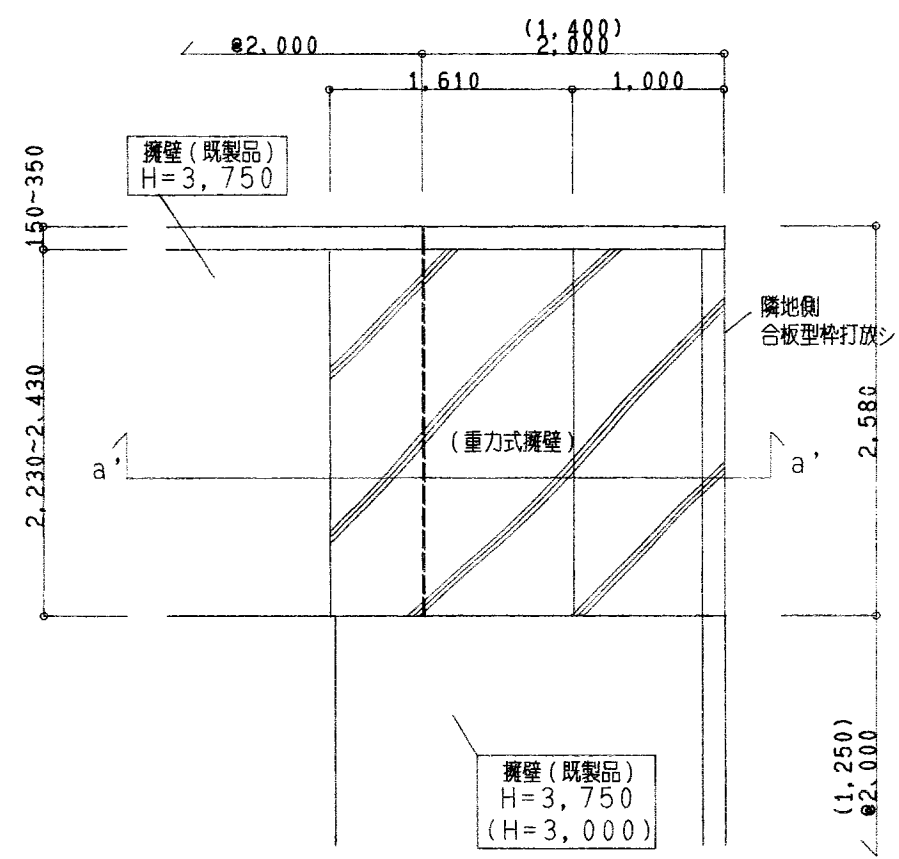


- (A) コンクリート立上り
- (B) 擁壁 H=3,000
- (C) 擁壁 H=3,750
- (D) 擁壁 H=3,750
- (E) 擁壁 H=1,600
- (F) 擁壁 H=1,400
- (G) 擁壁 H=1,400
- (H) 擁壁 H=1,200

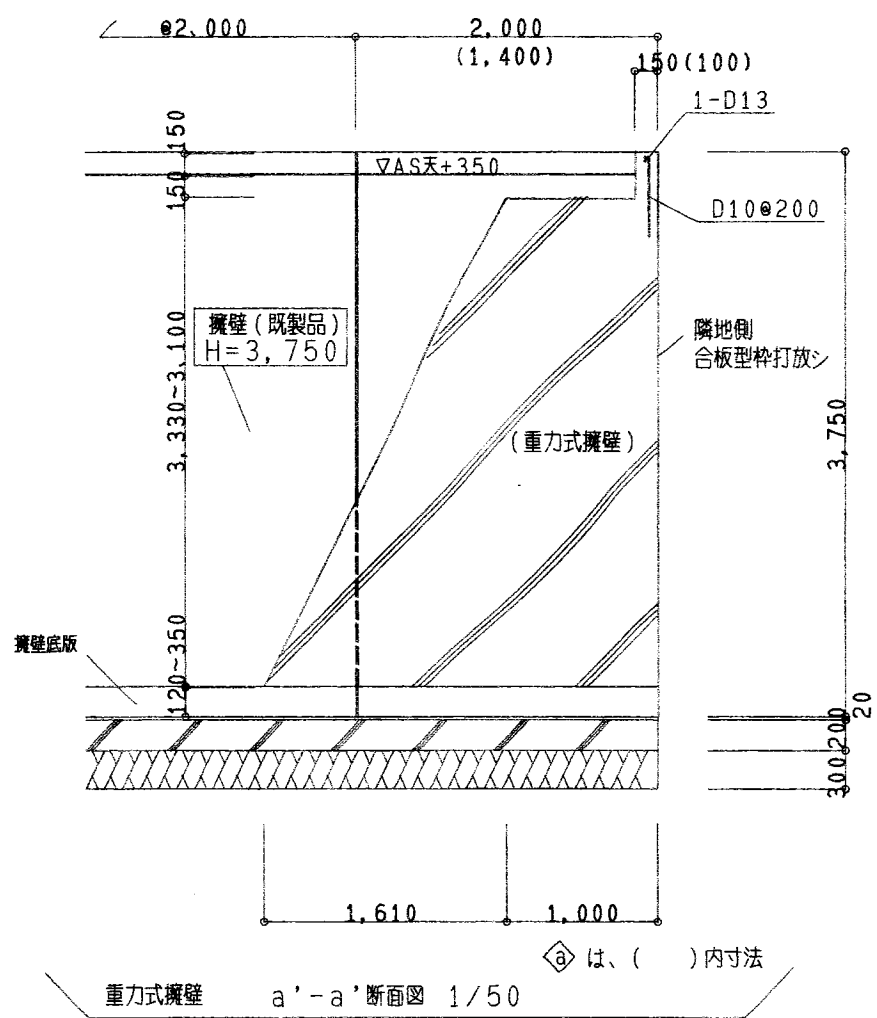
擁壁 (既製品)
ニッコーウォール (標準タイプ) 同等品

擁壁配置図 1/200

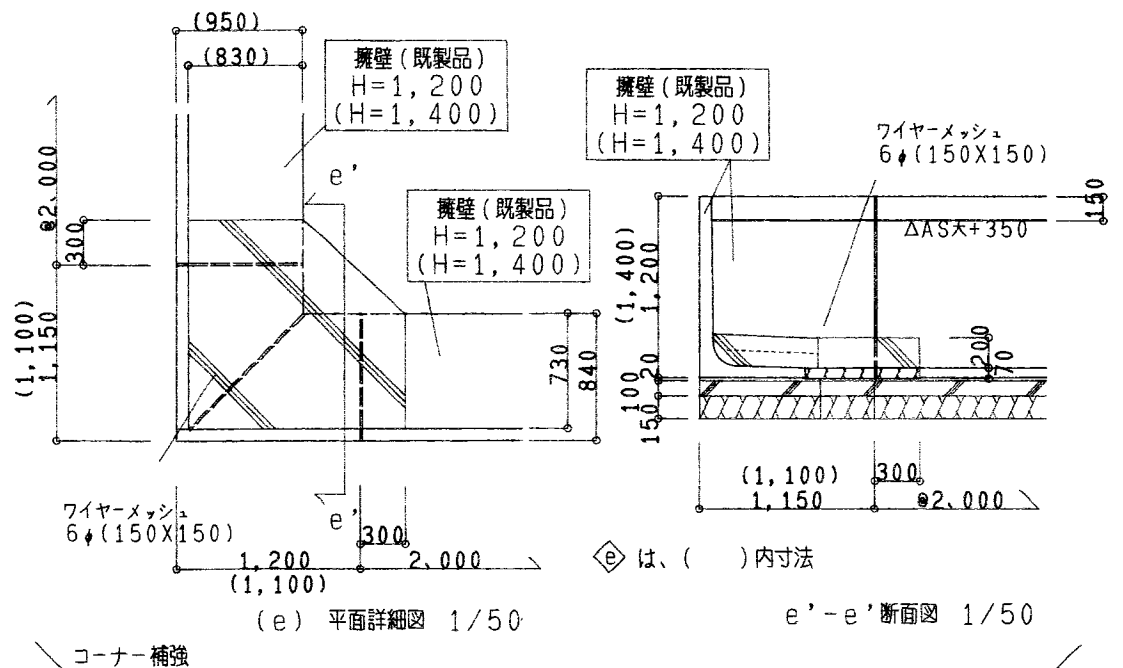
特記なき限り下記による。



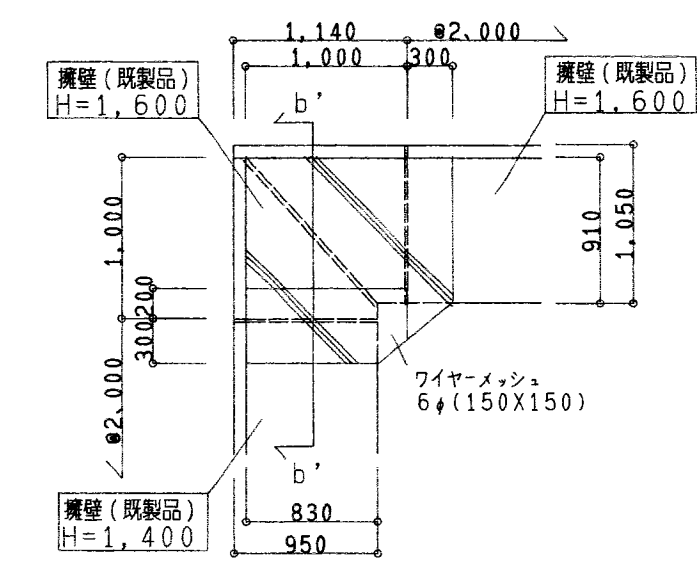
(a) 平面詳細図 1/50



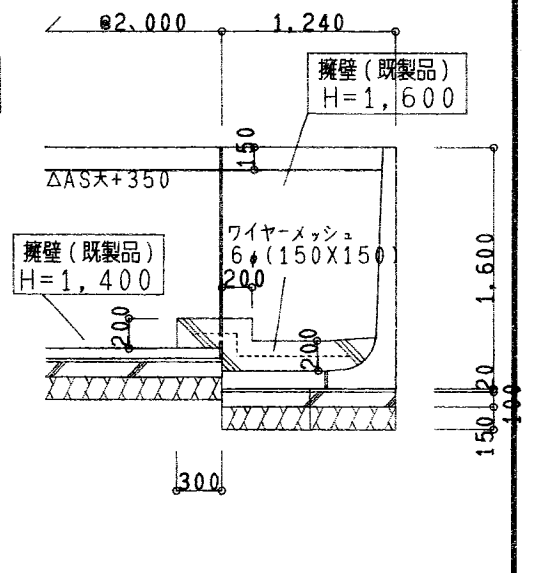
重力式擁壁 a'-a'断面図 1/50



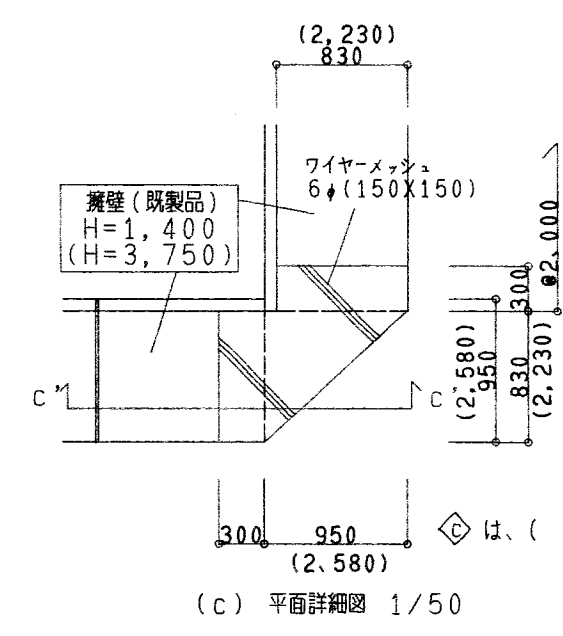
(e) 平面詳細図 1/50



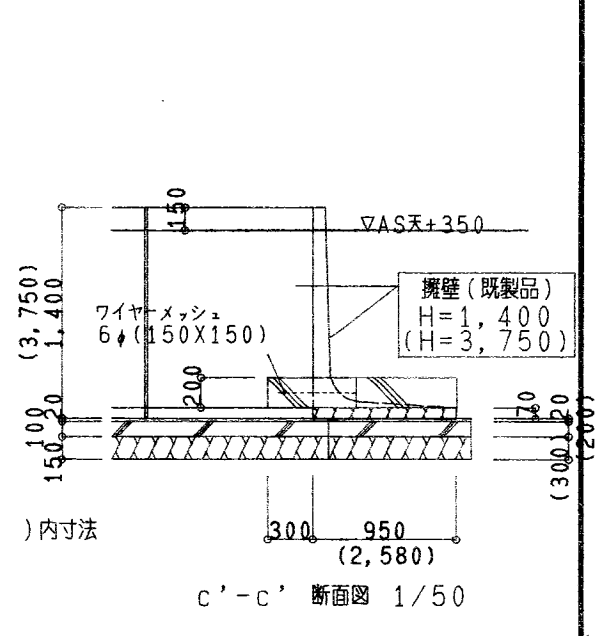
(b) 平面詳細図 1/50



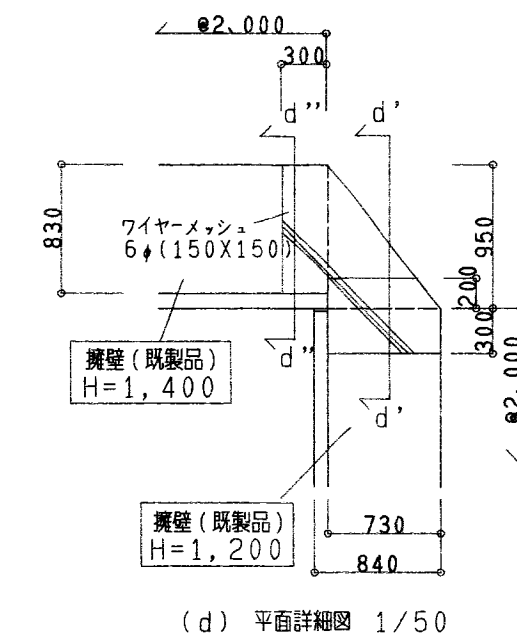
b'-b'断面図 1/50



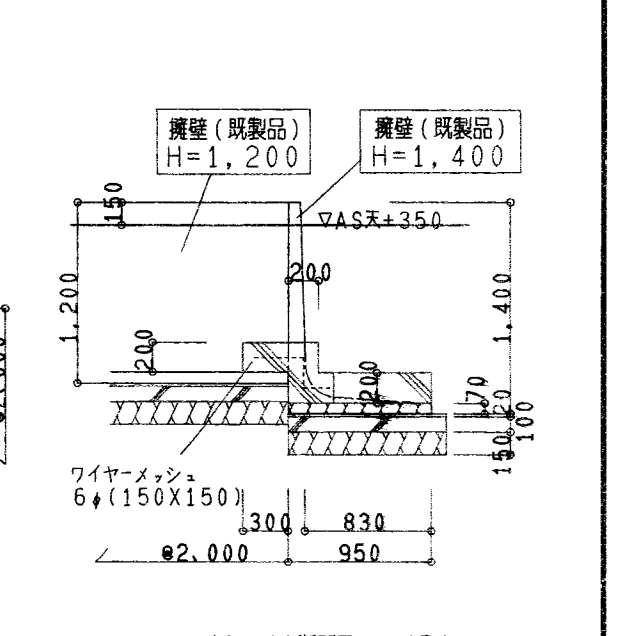
(c) 平面詳細図 1/50



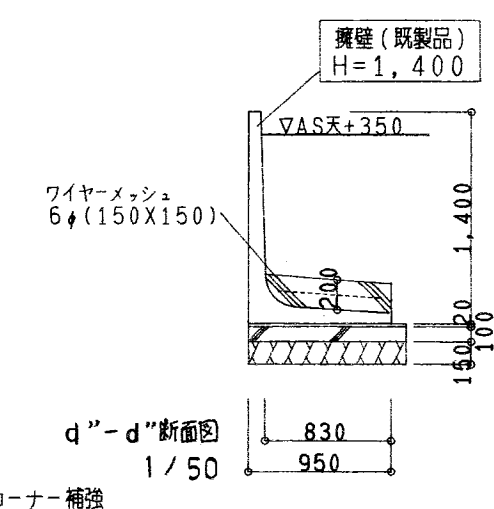
c'-c'断面図 1/50



(d) 平面詳細図 1/50

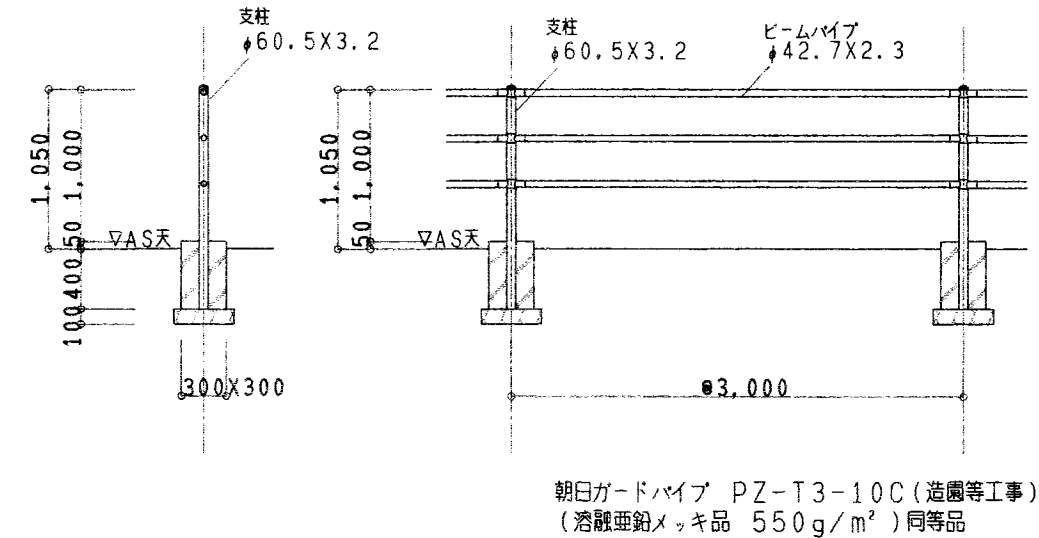
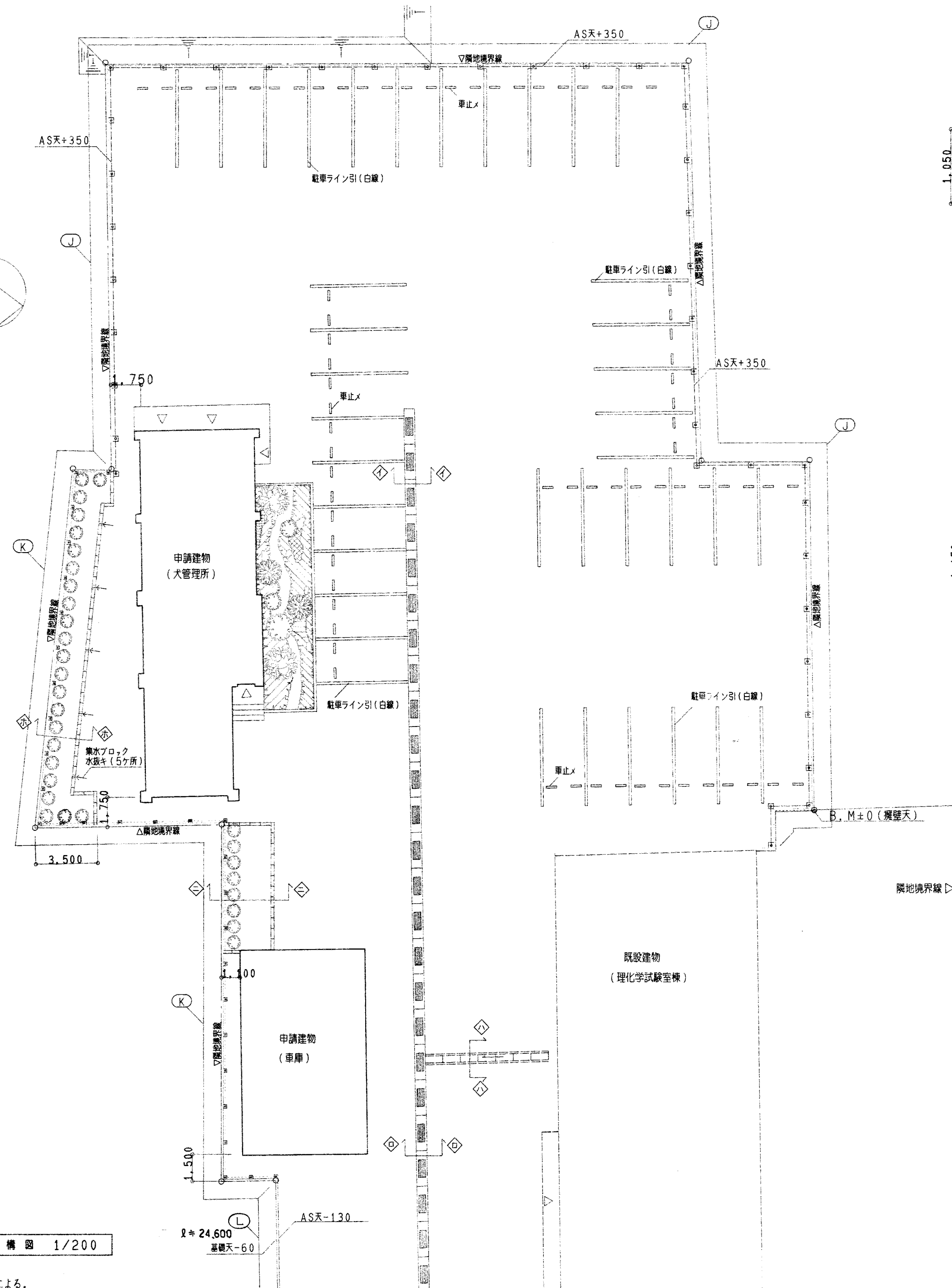
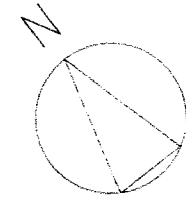


d'-d'断面図 1/50

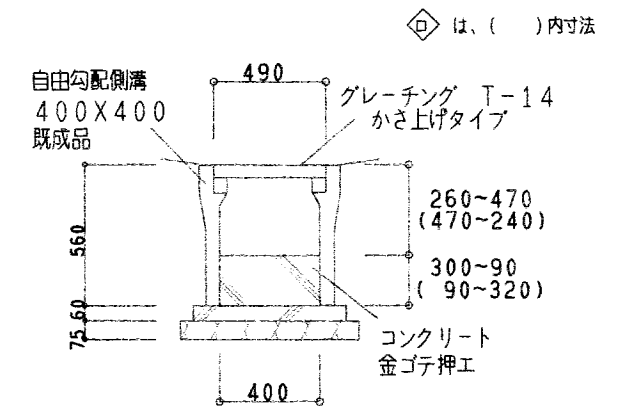


d'-d'断面図 1/50

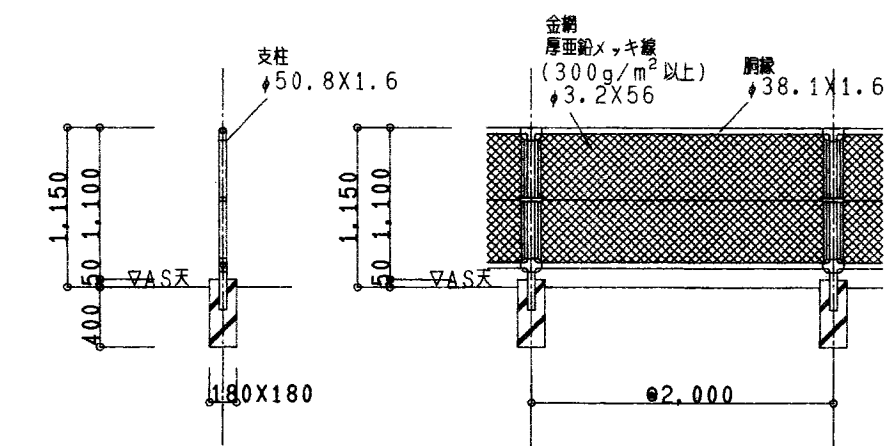
平成 5 年
部 局
01
コード
180105
図 番
A-17



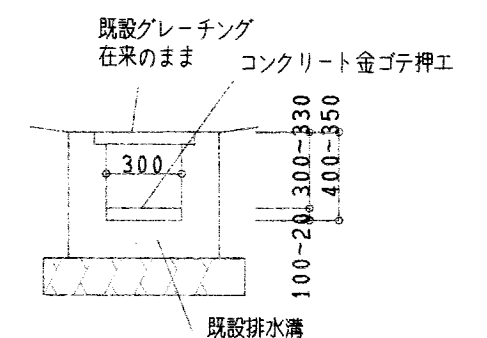
断面図 1/50



断面図 1/30

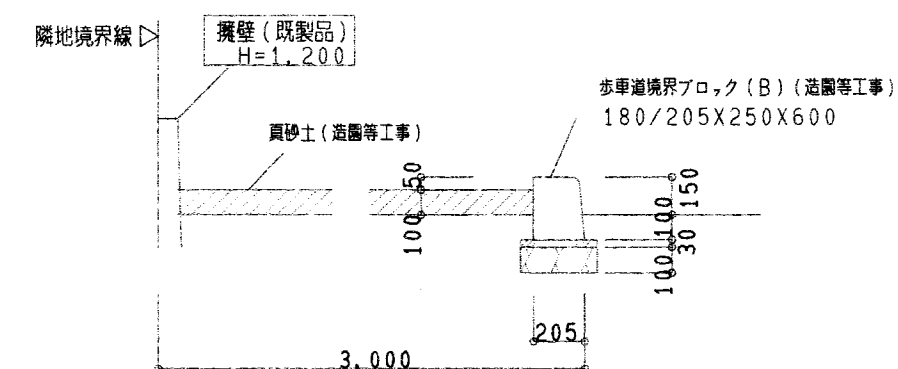


断面図 1/50

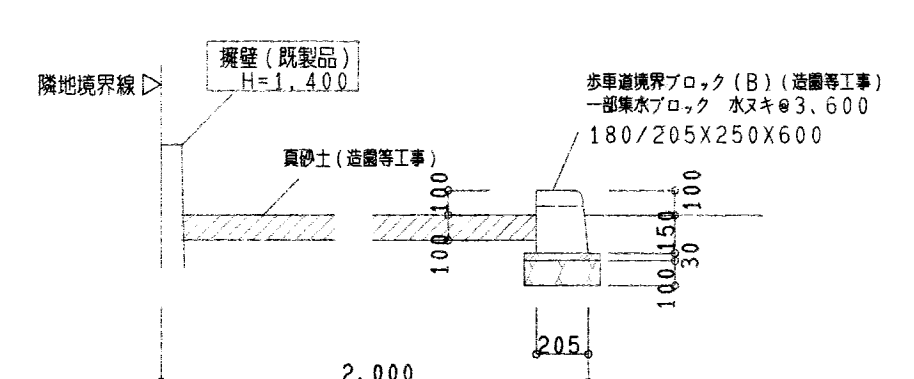


断面図 1/30

部分ハ 既設フェンス撤去後
朝日PCフェンス
PC-A1500 (造園等工事) $\ell \approx 24,600$
(溶融亜鉛メッキ品) 同等品
基礎, RC立上りコア抜き $\phi 100 \times 300$



断面図 1/30



断面図 1/30

車止メ 地先境界ブロック(A) 120/120X120X600 (既製品)
固定は、車止メブロック専用接着剤による。

駐車ライン引(白線) 溶融式 幅150塗布厚1.5mm 長さ5,500

平成5年
都 局
01
コード
180105
図 番
A-18

特記なき限り下記による。

コンクリート $F_0=160\text{Kg/cm}^2$ 基礎コンクリート

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
株式会社 足立建築設計事務所
境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印 担当 作図 作図
5 年 8 月 日
SCALE 1/200
1/50
1/30

工事名 米子保健所犬管理所新築等工事
図面名 外構図(4) フェンス、ガードパイプ、側溝、花壇断面図

A 18
34

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(単位mm)1989版

§ 1 一般事項

大管理所棟 布基礎
車庫棟 独立基礎
Fo=210% 管理所全棟 車庫棟 基礎 地中梁壁
外構壁式30型、30型補強
Fo=180% 車庫棟土間
Fo=160% 30型壁基礎、擁壁コンクリート

§ 2 共通事項

鉄筋の表示記号は下表による。

記号	形状	寸法	寸法	寸法	寸法	寸法	寸法	寸法	寸法
丸筋	D10	D12	D16	D19	D22	D25	D29	D32	
角筋	9#	9#	13#	16#	19#	22#	25#		

- フックのない場合
- フックのある場合
- 本数に差がある場合
- 圧接継手表示

鉄筋の表示記号	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法
丸筋	S10	S12	S16	S19	S22	S25	S29	S32	
角筋	9#	9#	13#	16#	19#	22#	25#		

鉄筋の表示記号	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法
丸筋	S10	S12	S16	S19	S22	S25	S29	S32	
角筋	9#	9#	13#	16#	19#	22#	25#		

鉄筋の表示記号	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法	鉄筋の寸法
丸筋	S10	S12	S16	S19	S22	S25	S29	S32	
角筋	9#	9#	13#	16#	19#	22#	25#		

1. 基礎のフックは、定着及び重ね継手の長さには含まない。
2. 定着の異なる鉄筋の重ね継手の長さは、定着の異なる鉄筋の公称寸法とする。
3. ()内は、鉄筋コンクリートの場合を示す。
4. 表中にない種類の鉄筋を用いる場合は、下掲の定着の長さ以外に日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規程」17条による。
5. 定着スラストの定着の長さの中心の中間部を以て定着の長さとし、(又はL)にかかわらず、定着の中心を以て定着の長さとする。
6. 鉄筋の定着については、係数の定着を以て定着の長さとする。

2-4 継手一般

1. 圧接継手

2. 重ね継手 (下記のいずれかとする。)

3. D25、D29の鉄筋は圧接としなければならない。

4. 鉄筋の定着が異なる場合は圧接としてはいけない。

2-5 鉄筋のフック

2-6 鉄筋の定着

2-7 鉄筋の重ね

2-8 鉄筋の定着

2-9 鉄筋の定着

2-10 鉄筋の定着

2-11 鉄筋の定着

2-12 鉄筋の定着

2-13 鉄筋の定着

2-14 鉄筋の定着

2-15 鉄筋の定着

2-16 鉄筋の定着

2-17 鉄筋の定着

2-18 鉄筋の定着

2-19 鉄筋の定着

2-20 鉄筋の定着

2-21 鉄筋の定着

2-22 鉄筋の定着

2-23 鉄筋の定着

2-24 鉄筋の定着

2-25 鉄筋の定着

2-26 鉄筋の定着

2-27 鉄筋の定着

2-28 鉄筋の定着

2-29 鉄筋の定着

2-30 鉄筋の定着

2-31 鉄筋の定着

2-32 鉄筋の定着

2-33 鉄筋の定着

2-34 鉄筋の定着

2-35 鉄筋の定着

2-36 鉄筋の定着

2-37 鉄筋の定着

2-38 鉄筋の定着

2-39 鉄筋の定着

2-40 鉄筋の定着

2-41 鉄筋の定着

2-42 鉄筋の定着

2-43 鉄筋の定着

2-44 鉄筋の定着

2-45 鉄筋の定着

2-46 鉄筋の定着

2-47 鉄筋の定着

2-48 鉄筋の定着

2-49 鉄筋の定着

2-50 鉄筋の定着

2-51 鉄筋の定着

2-52 鉄筋の定着

2-5 鉄筋のフック

2-6 鉄筋の定着

2-7 鉄筋の重ね

2-8 鉄筋の定着

2-9 鉄筋の定着

2-10 鉄筋の定着

2-11 鉄筋の定着

2-12 鉄筋の定着

2-13 鉄筋の定着

2-14 鉄筋の定着

2-15 鉄筋の定着

2-16 鉄筋の定着

2-17 鉄筋の定着

2-18 鉄筋の定着

2-19 鉄筋の定着

2-20 鉄筋の定着

2-21 鉄筋の定着

2-22 鉄筋の定着

2-23 鉄筋の定着

2-24 鉄筋の定着

2-25 鉄筋の定着

2-26 鉄筋の定着

2-27 鉄筋の定着

2-28 鉄筋の定着

2-29 鉄筋の定着

2-30 鉄筋の定着

2-31 鉄筋の定着

2-32 鉄筋の定着

2-33 鉄筋の定着

2-34 鉄筋の定着

2-35 鉄筋の定着

2-36 鉄筋の定着

2-37 鉄筋の定着

2-38 鉄筋の定着

2-39 鉄筋の定着

2-40 鉄筋の定着

2-41 鉄筋の定着

2-42 鉄筋の定着

2-43 鉄筋の定着

2-44 鉄筋の定着

2-45 鉄筋の定着

2-46 鉄筋の定着

2-47 鉄筋の定着

2-48 鉄筋の定着

2-49 鉄筋の定着

2-50 鉄筋の定着

2-51 鉄筋の定着

2-52 鉄筋の定着

2-5 鉄筋のフック

2-6 鉄筋の定着

2-7 鉄筋の重ね

2-8 鉄筋の定着

2-9 鉄筋の定着

2-10 鉄筋の定着

2-11 鉄筋の定着

2-12 鉄筋の定着

2-13 鉄筋の定着

2-14 鉄筋の定着

2-15 鉄筋の定着

2-16 鉄筋の定着

2-17 鉄筋の定着

2-18 鉄筋の定着

2-19 鉄筋の定着

2-20 鉄筋の定着

2-21 鉄筋の定着

2-22 鉄筋の定着

2-23 鉄筋の定着

2-24 鉄筋の定着

2-25 鉄筋の定着

2-26 鉄筋の定着

2-27 鉄筋の定着

2-28 鉄筋の定着

2-29 鉄筋の定着

2-30 鉄筋の定着

2-31 鉄筋の定着

2-32 鉄筋の定着

2-33 鉄筋の定着

2-34 鉄筋の定着

2-35 鉄筋の定着

2-36 鉄筋の定着

2-37 鉄筋の定着

2-38 鉄筋の定着

2-39 鉄筋の定着

2-40 鉄筋の定着

2-41 鉄筋の定着

2-42 鉄筋の定着

2-43 鉄筋の定着

2-44 鉄筋の定着

2-45 鉄筋の定着

2-46 鉄筋の定着

2-47 鉄筋の定着

2-48 鉄筋の定着

2-49 鉄筋の定着

2-50 鉄筋の定着

2-51 鉄筋の定着

2-52 鉄筋の定着

2-5 鉄筋のフック

2-6 鉄筋の定着

2-7 鉄筋の重ね

2-8 鉄筋の定着

2-9 鉄筋の定着

2-10 鉄筋の定着

2-11 鉄筋の定着

2-12 鉄筋の定着

2-13 鉄筋の定着

2-14 鉄筋の定着

2-15 鉄筋の定着

2-16 鉄筋の定着

2-17 鉄筋の定着

2-18 鉄筋の定着

2-19 鉄筋の定着

2-20 鉄筋の定着

2-21 鉄筋の定着

2-22 鉄筋の定着

2-23 鉄筋の定着

2-24 鉄筋の定着

2-25 鉄筋の定着

2-26 鉄筋の定着

2-27 鉄筋の定着

2-28 鉄筋の定着

2-29 鉄筋の定着

2-30 鉄筋の定着

2-31 鉄筋の定着

2-32 鉄筋の定着

2-33 鉄筋の定着

2-34 鉄筋の定着

2-35 鉄筋の定着

2-36 鉄筋の定着

2-37 鉄筋の定着

2-38 鉄筋の定着

2-39 鉄筋の定着

2-40 鉄筋の定着

2-41 鉄筋の定着

2-42 鉄筋の定着

2-43 鉄筋の定着

2-44 鉄筋の定着

2-45 鉄筋の定着

2-46 鉄筋の定着

2-47 鉄筋の定着

2-48 鉄筋の定着

2-49 鉄筋の定着

2-50 鉄筋の定着

2-51 鉄筋の定着

2-52 鉄筋の定着

2-5 鉄筋のフック

2-6 鉄筋の定着

2-7 鉄筋の重ね

2-8 鉄筋の定着

2-9 鉄筋の定着

2-10 鉄筋の定着

2-11 鉄筋の定着

2-12 鉄筋の定着

2-13 鉄筋の定着

2-14 鉄筋の定着

2-15 鉄筋の定着

2-16 鉄筋の定着

2-17 鉄筋の定着

2-18 鉄筋の定着

2-19 鉄筋の定着

2-20 鉄筋の定着

2-21 鉄筋の定着

2-22 鉄筋の定着

2-23 鉄筋の定着

2-24 鉄筋の定着

2-25 鉄筋の定着

2-26 鉄筋の定着

2-27 鉄筋の定着

2-28 鉄筋の定着

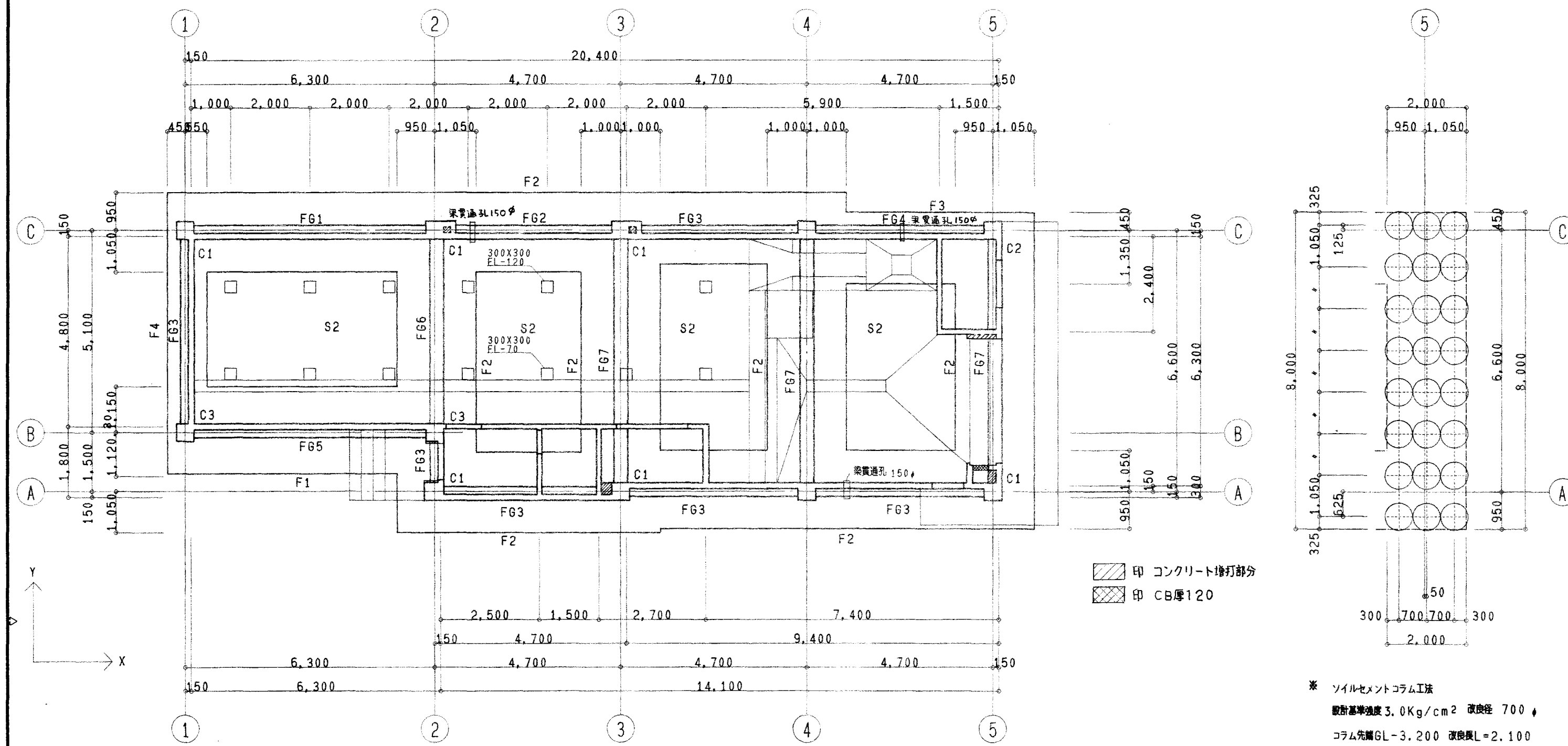
2-29 鉄筋の定着

2-30 鉄筋の定着

2-31 鉄筋の定着

2-32 鉄筋の定着

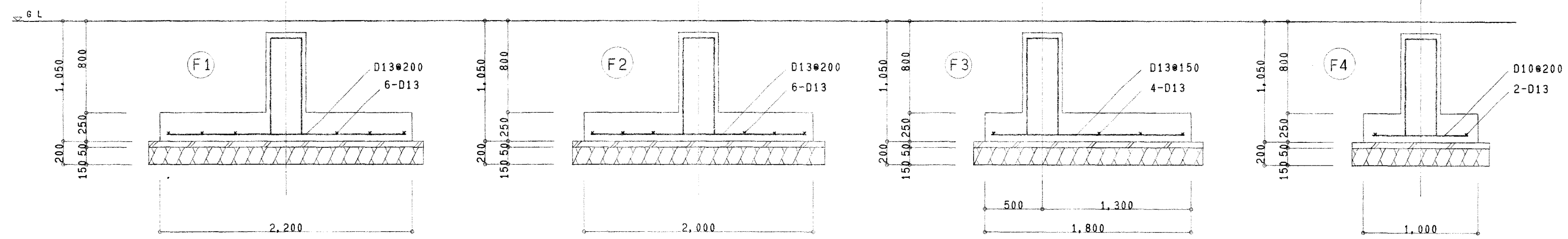
2-33 鉄筋の定着



地盤改良工事（固結柱体地業）特記仕様書	
1. 一般事項	(1) 本工事は、本特記仕様書による。 (2) 本工事は「テノコラム工法」（ソイルセメント混合攪拌で共廻り防止装置の有する地盤改良工）とする。
2. 設計強度	(1) 現場平均強度 $quf = 6 \text{ kg/cm}^2$ (2) 設計基準強度 $F_c = 3 \text{ kg/cm}^2$
3. 施工内容	(1) ソイルセメントコラムの径・深度・数量は本設計図による。
4. 施工管理	(1) 本コラム100本毎に、1本のコラムからコアを3本以上採取し圧縮強度試験により、その平均強度を確認する。 (2) 管理試験方法は、都市整備公団「ソイルセメントコラム工法設計・施工指針（案）63年9月」コラムの強度管理試験に準拠する。
5. 注入材料及び配合使用量	(1) 注入材料とその配合及び使用量は、下記を標準とする。 イ. 注入材料 セメント系固結材 ロ. 配 合 水固結材比 $W/C = 60\%$ ハ. 使用量 $\alpha_n = 250 \text{ kg/m}^3$ (m^3 :改良対象土単位置) 上記配合は標準配合であり、施工前の室内配合試験の結果から変更もありうる。
6. 施 工	(1) 施工は、垂直性、施工深度を必要な測定器により確認し、所要の施工精度を保つことに留意しなければならない。また、コラム1本毎に、注入量を管理する。 (2) コラム頭部の余長は、原則として10cm以上とする。
7. 施工計画書	(1) 本工事に先立ち、施工計画書を提出し、次の事項を明記する。 イ. 本工事施工業者名及び施工責任者名。 ロ. 施工機械及び設備の種類及び台数。 ハ. 固結材の使用量及び配合計画
8. 施工報告書	(1) 施工完了後、コラム毎にデータを記録し、報告書として3部を提出する。

基礎伏図 1/100

改良コラム 配置図 1/100



基礎詳細図 1/30

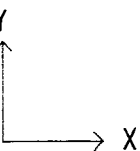
平成 5 年
部 局
01
コードNo
180105
図 番
A-22

柱断面リスト 1/30

符号	C1	C2	C3
断面			
X x Y	450X450	450X450	450X450
主筋	8-D19	10-D19	10-D19
フープ*	□-D10●100	□-D10●100	□-D10●100
Dフープ*	X-D10●600	X-D10●600	X-D10●600
備考			

壁リスト 1/30

符号	W15 EW15	W15A	W12
断面			
壁厚	150	150	120
縦筋	D10●150	D10●200W	D10●200
横筋	D10●150	D10●200Wチドリ	D10●200
開口部補強筋	縦横共	2-D13	1-D13
	斜筋	4-D13	1-D13

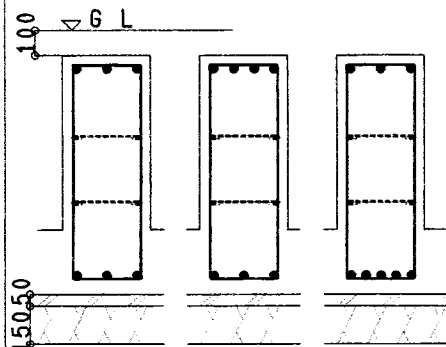
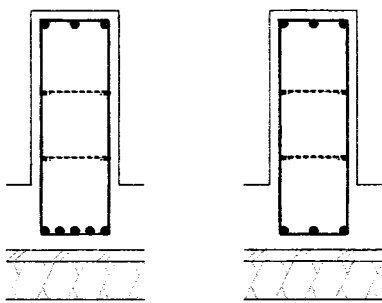
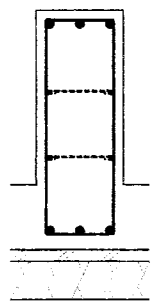
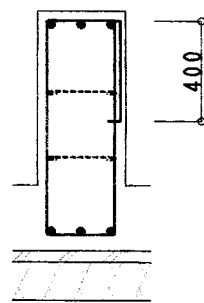
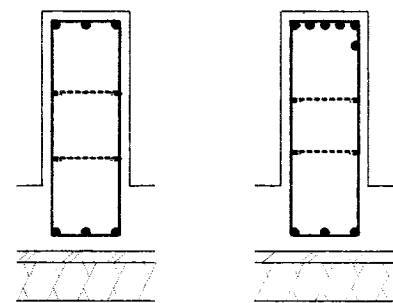
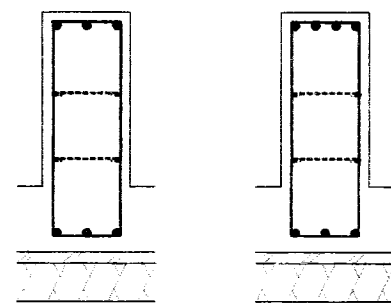
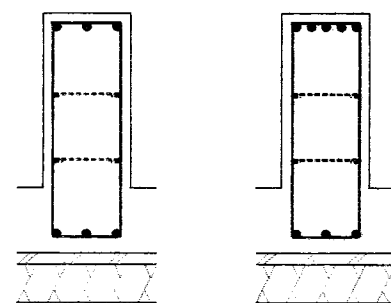


断面

大梁リスト1/30

符 号		RG1		RG2		RG3		RG4 cG1		RG5		RG6		RG7							
位 置		端 部		中 央		2 端		他端中央		全断面		B 端		他端中央		全断面		端 部		中 央	
断 面																					
B x D		300X600		300X600		300X600		300X600		300X600		300X600		300X600							
主 筋	上 端	3-D19		2-D19		3-D19		2-D19		2-D19		3-D19		2-D19		3-D19		4-D19		2-D19	
	下 端	2-D19		2-D19		2-D19		2-D19		2-D19		3-D19		2-D19		2-D19		2-D19		4-D19	
スターラップ*		□-D10●200		□-D10●200		□-D10●200		□-D10●200		□-D10●200		□-D10●200		□-D10●200		□-D10●200					
腹筋 幅止×筋		2-D10 ㄣ-D10●1000		2-D10 ㄣ-D10●1000		2-D10 ㄣ-D10●1000		2-D10 ㄣ-D10●1000		2-D10 ㄣ-D10●1000		2-D10 ㄣ-D10●1000		2-D10 ㄣ-D10●1000		2-D10 ㄣ-D10●1000					

地中梁リスト 1/30

符 号		FG1			FG2		FG3	FG4	FG5		FG6		FG7	
位 置		1 端	中 央	2 端	1 端	他端中央	全断面	全断面	端 部	中 央	端 部	中 央	端 部	中 央
断 面														
B x D		350X950			350X950		350X950	350X950	350X950		350X950		350X950	
主 筋	上 端	3-D19	4-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	6-D19	3-D19	4-D19	3-D19	5-D19
	下 端	3-D19	3-D19	5-D19	5-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19
スターラップ*		□-D10●200			□-D10●200		□-D10●200	□-D10●200	□-D10●200		□-D10●200		□-D10●200	
腹筋 幅止×筋		4-D10 ㄣ-D10●1000			4-D10 ㄣ-D10●1000		4-D10 ㄣ-D10●1000	4-D13 ㄣ-D10●1000	4-D10 ㄣ-D10●1000		4-D10 ㄣ-D10●1000		4-D10 ㄣ-D10●1000	

平成5年

部局

〇1

コード

180105

図番

A-24

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
株式会社 足立建築設計事務所
境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印

担当

作図

作図

5年8月 日
SCALE 1/30

工事名

米子保健所大管理所新築等工事

図面名

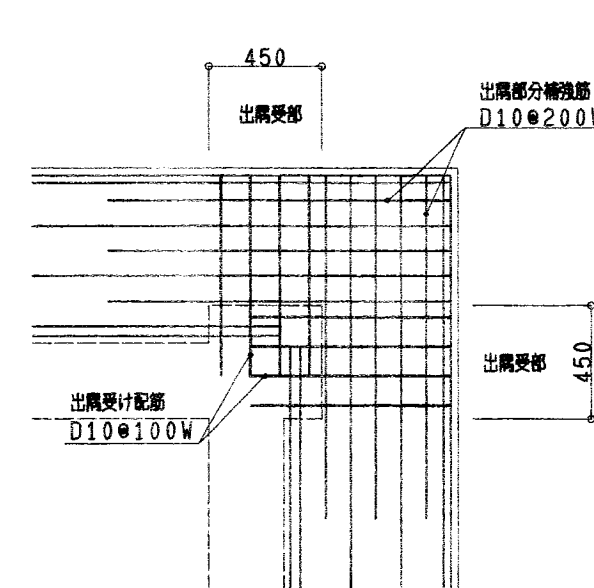
(犬管理所棟) 柱、梁、壁リスト

A 24

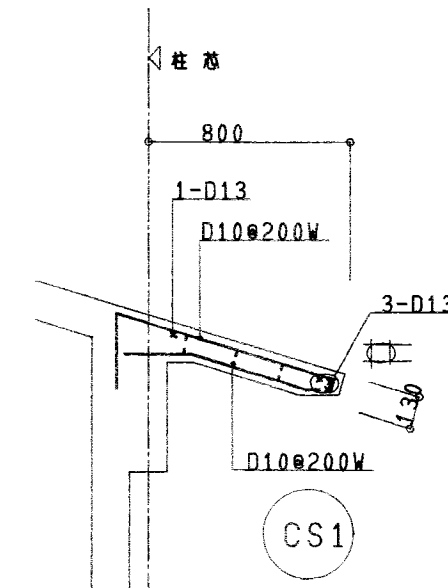
34

床版リスト 1/30

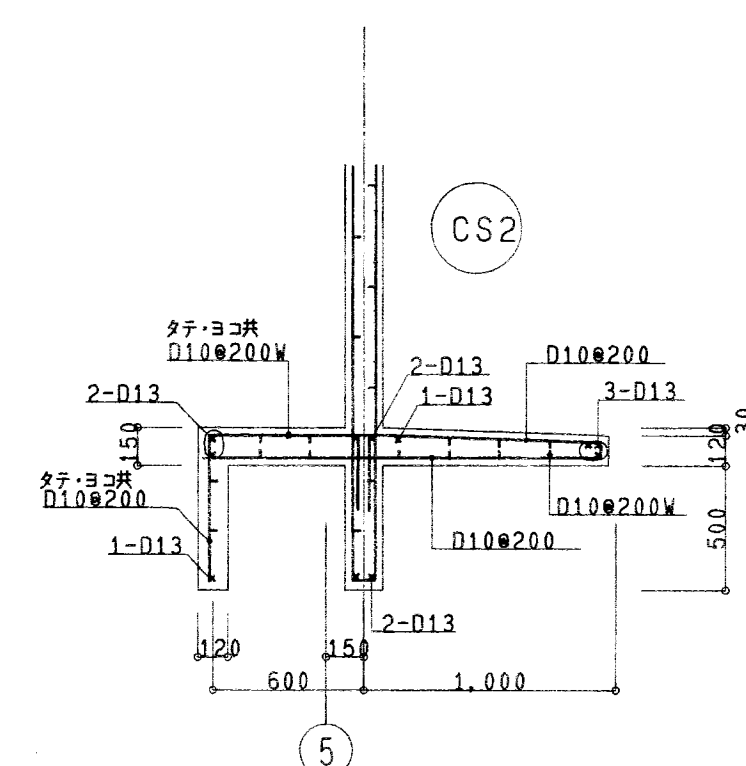
符 号	スラブ厚	位 置	短辺方向	長辺方向
			全 域	全 域
S 1	150	上端筋	D10D13#200	D10#200
		下端筋	D10#200	D10#200
S 2	150	上端筋	D13#200	D10D13#200
		下端筋	D10D13#200	D10#200
S 3	150	上端筋	D10#200	D10D13#200
		下端筋	D10#200	D10D13#200
S 4	120		D10#200	D10#200



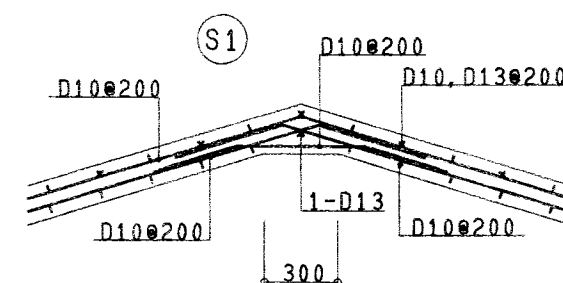
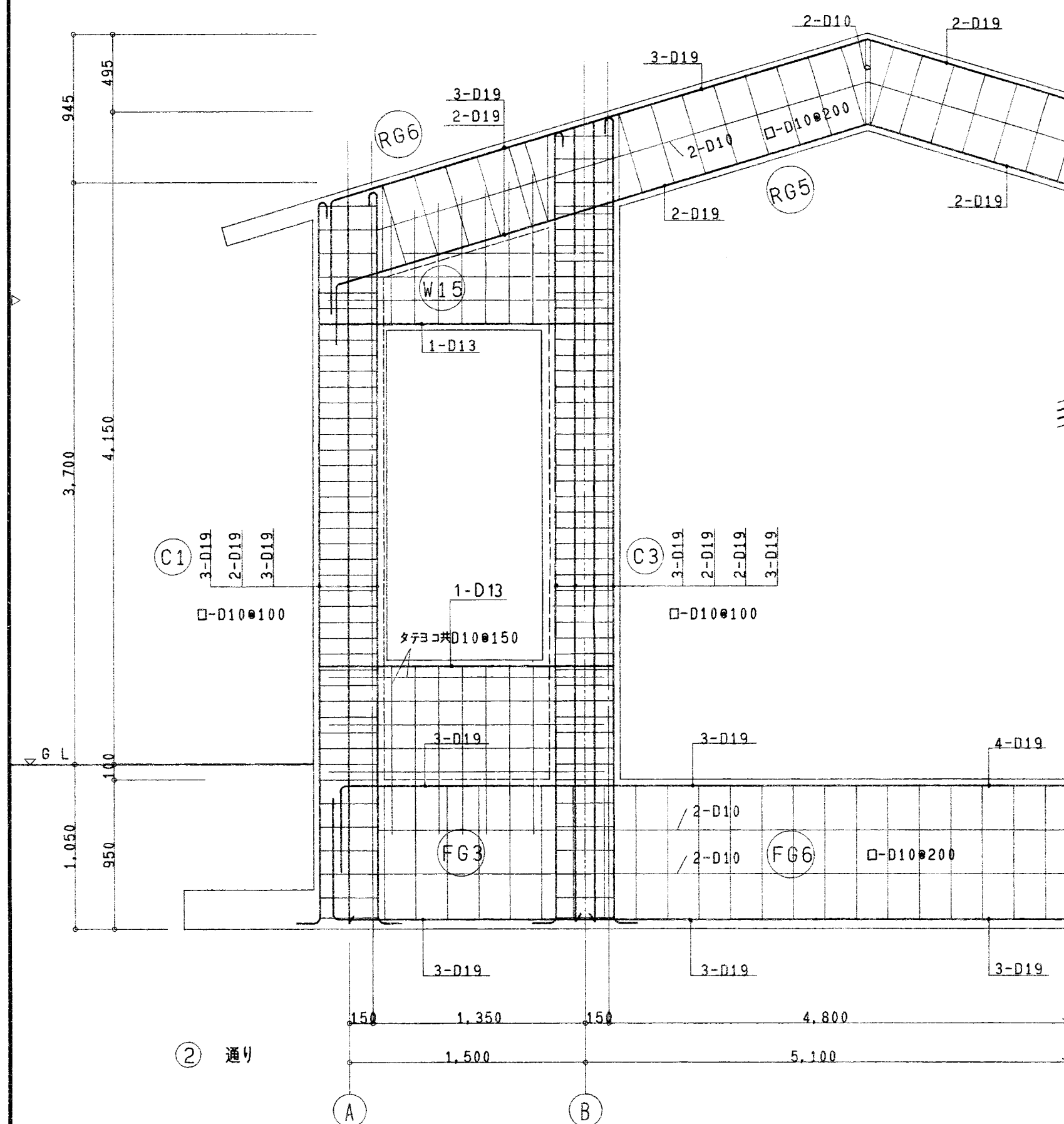
CS1 出隅部分補強筋 1/30



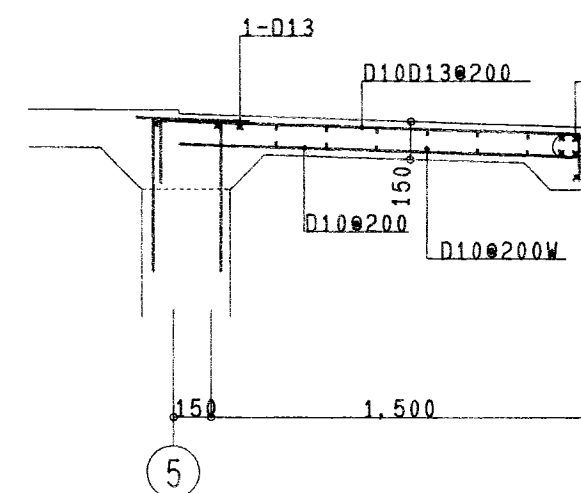
CS1 配筋図 1/30



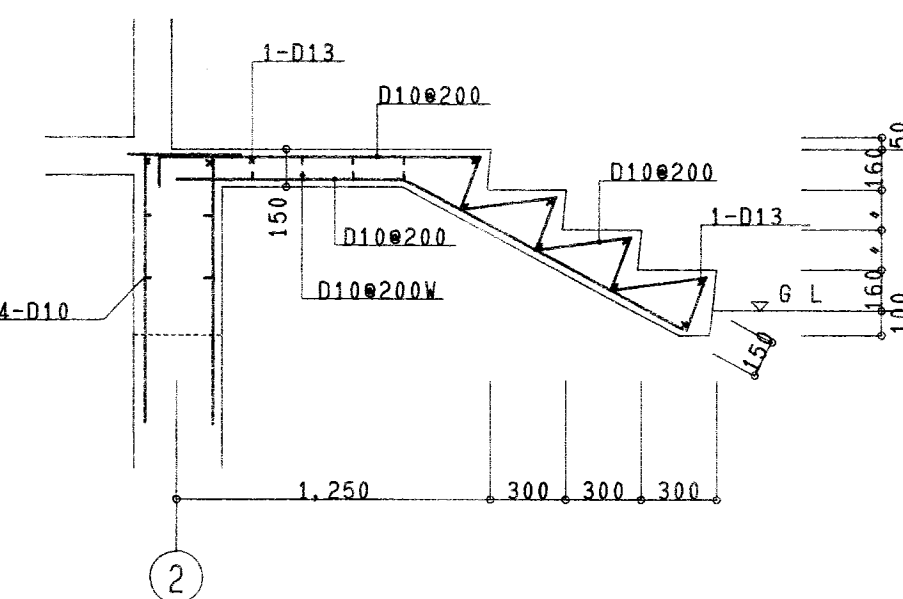
CS2 配筋図 1/30



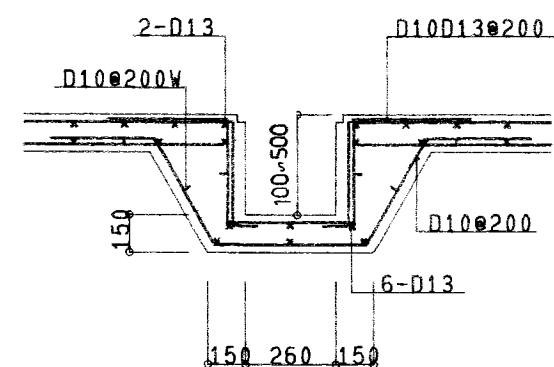
S1 頂部配筋図 1/30



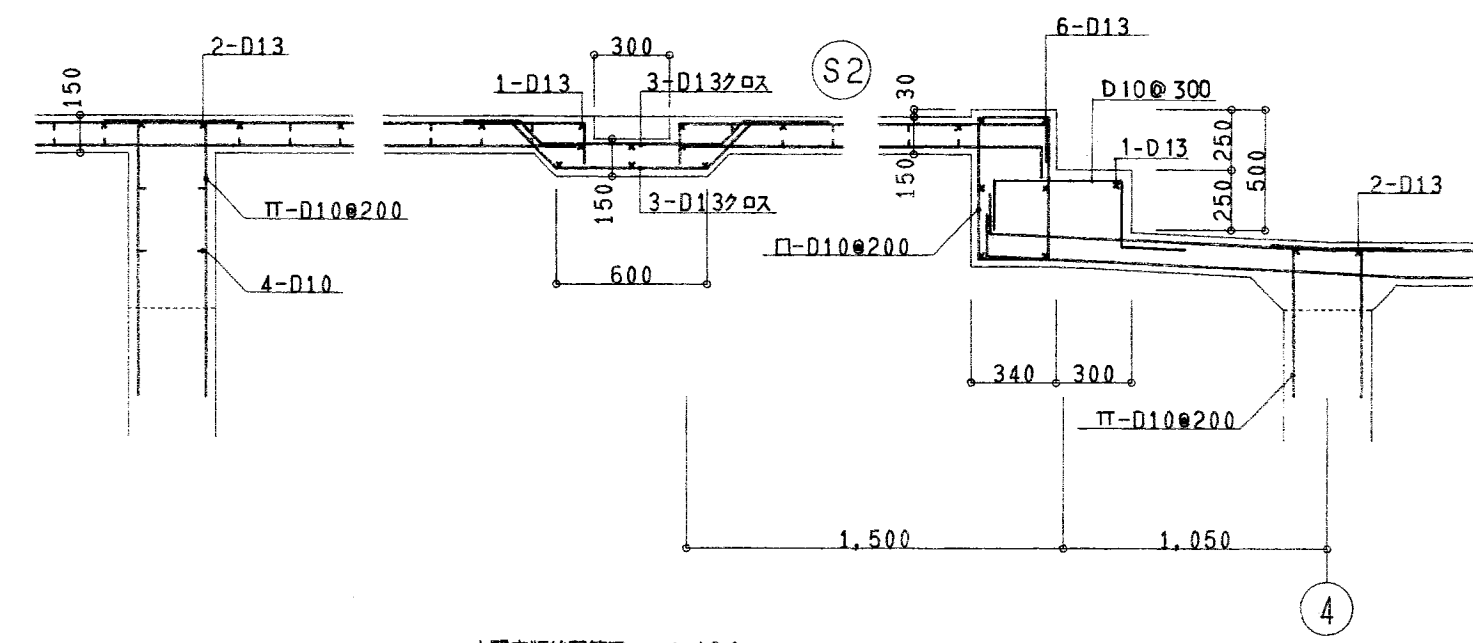
大走り配筋図 1/30



階段配筋図 1/30



排水溝配筋図 1/30



土間床版補配筋図 1/30

平成 5 年
部 局
01
コード No
180105
図 番
A-25

A 25

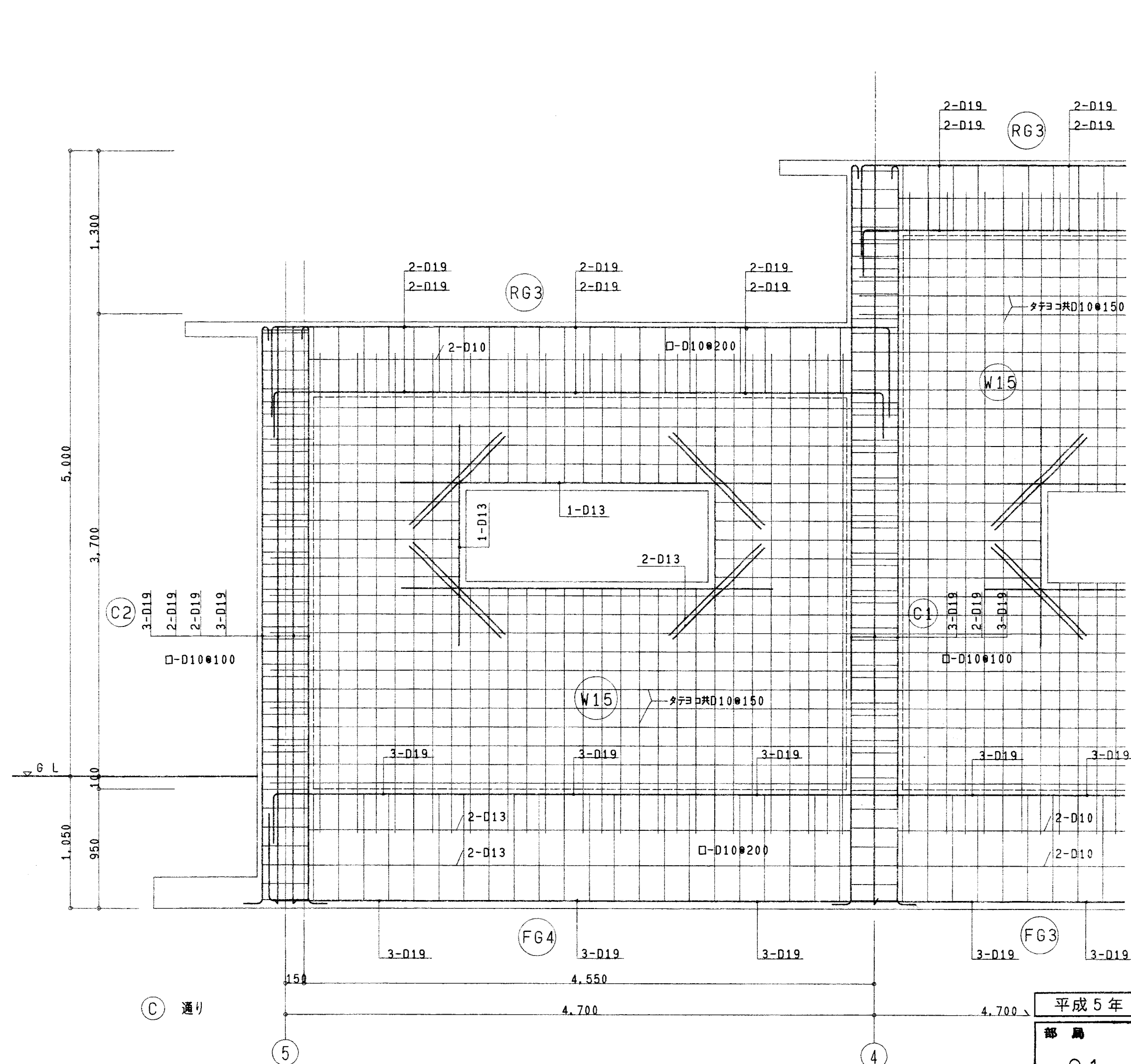
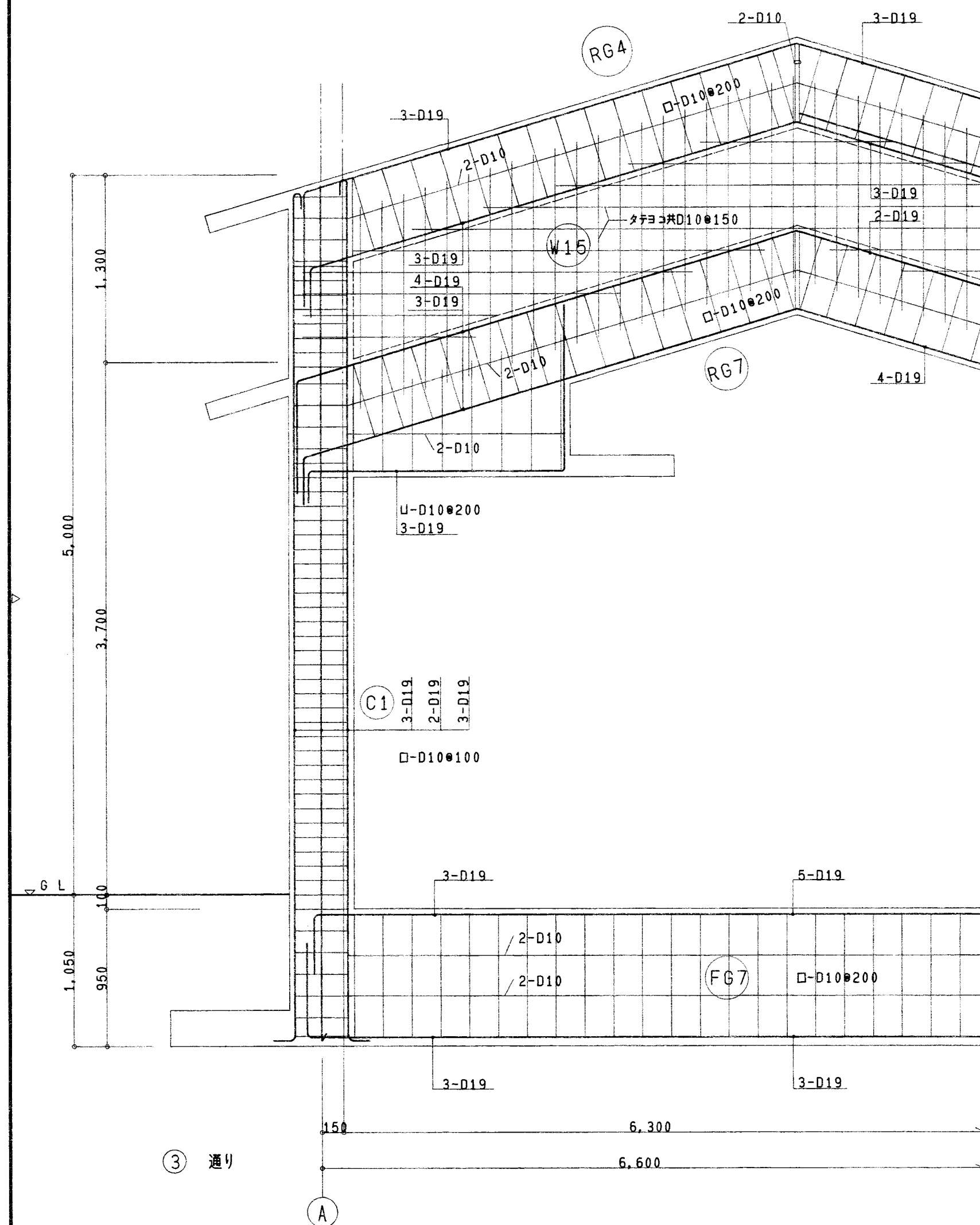
34

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
 株式会社 足立建築設計事務所
 境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
 管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印 担当 作図 作図 5 年 8 月 日
 SCALE 1/30

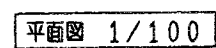
工事名 米子保健所犬管理所新築等工事

図面名 (犬管理所棟) 架構図、床版リスト、配筋図

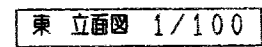


平成 5 年
部 局
01
コード
180105
図 番
A-26

	一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号 株式会社 足立建築設計事務所 境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358 管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩	検印 担当 作図 作図 5 年 8 月 日 SCALE 1/30	工事名 米子保健所犬管理所新築等工事 図面名 (犬管理所棟) 架構図 A 26 / 34
--	--	---	---



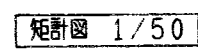
建築面積 80.50 m²
床面積 80.50 m² (36.44坪)



北立面图 1/100

南 立面图 1/100

西立面图 1/100



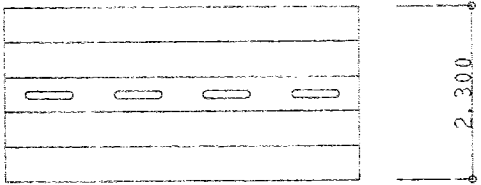
- 外部仕上

- ① ガルバリウム折板厚0.8mmH=166(ハゼ工法)
- ② ケラバ:ガルバリウム鋼板厚0.8mm造工
- ③ ALC厚100mm外装保温付樹脂系エマルジョン系(E)吹付
- ④ 合板型格打放し目地切H=600
- ⑤ 軒高:塩120°角変金物e450
- ⑥ 壁種:硬質塩ビ75ツ金物e1,500



※ 見掛け部分は、全て OS2回塗

名 称	オーバースライダー	アルミ引違い窓
数 料	専庫	専庫
材 質	アルミ	アルミシルバー
金 具	標準金具一式（バランスタイプ）	同 左
硝 子	明り窓（アクリル t=3）	網入型厚6.8mm
備 考	レール（SUS-304）アルミ3方枠	見込70



4,700

2,300



1,700

1,200

建 具 表 1/100

平成 5 年

部 局

01

コ-ドNo

180105

醫 國

A-27

特記なき限りは下記による

◀ — 印 柱芯
◁ — 印 壁芯
← — 印 水勾配

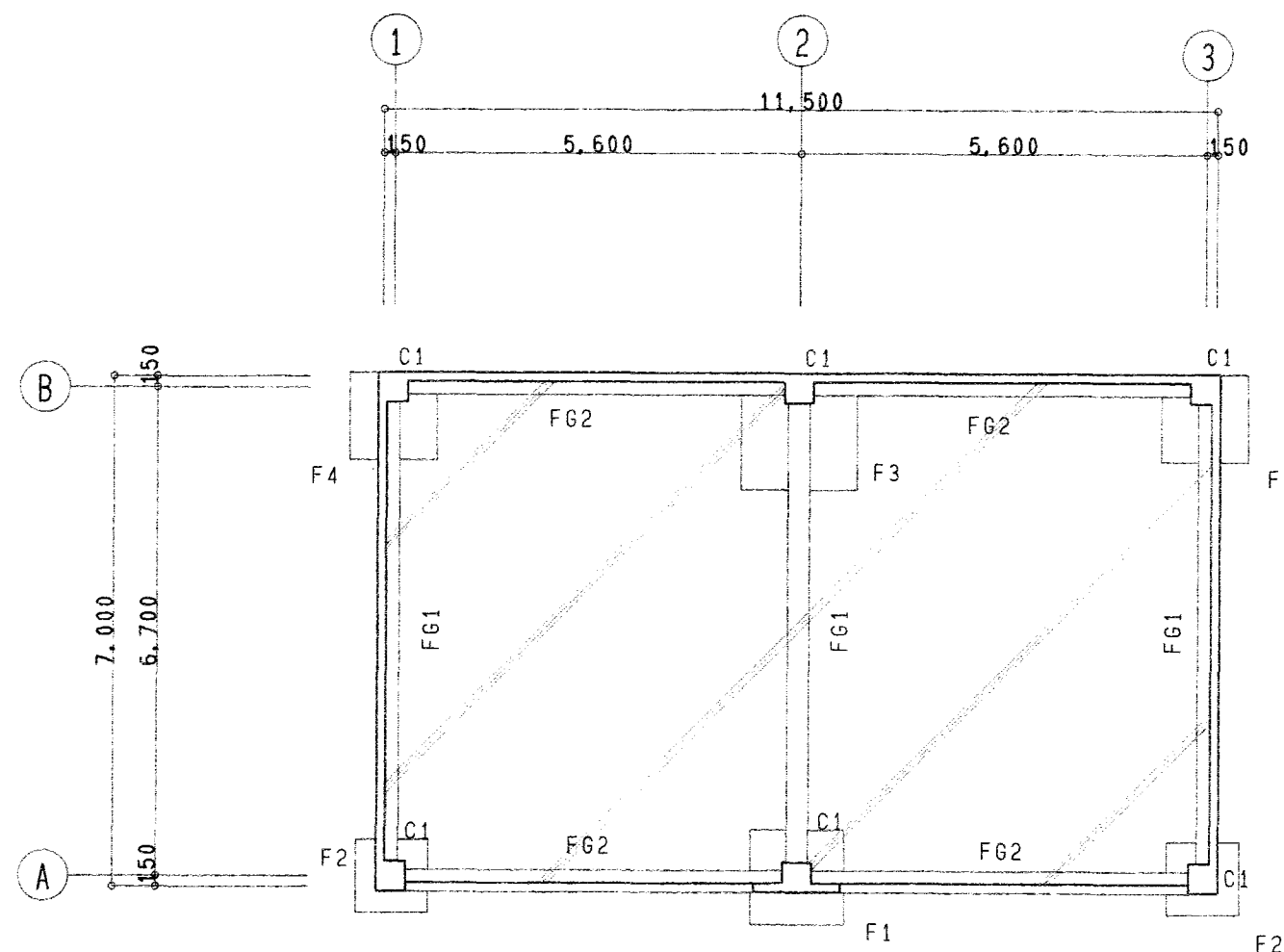
一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
株式会社 足立建築設計事務所
境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印

	5 年 8 月
SCALE	1/50 1/100

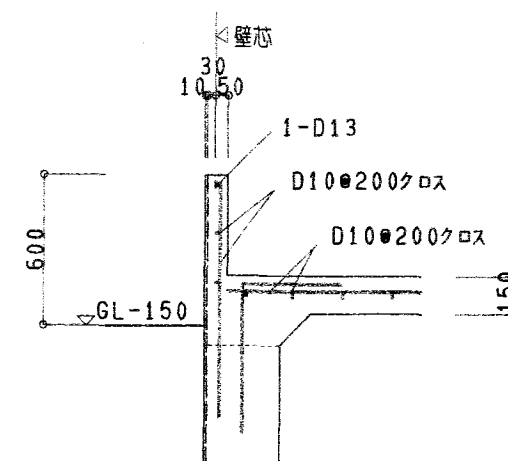
工事名	米子保健所犬管理所新築等工事
図面名	(車庫棟) 平面図, 立面図, 鉅計図, 建具表

A 27
34

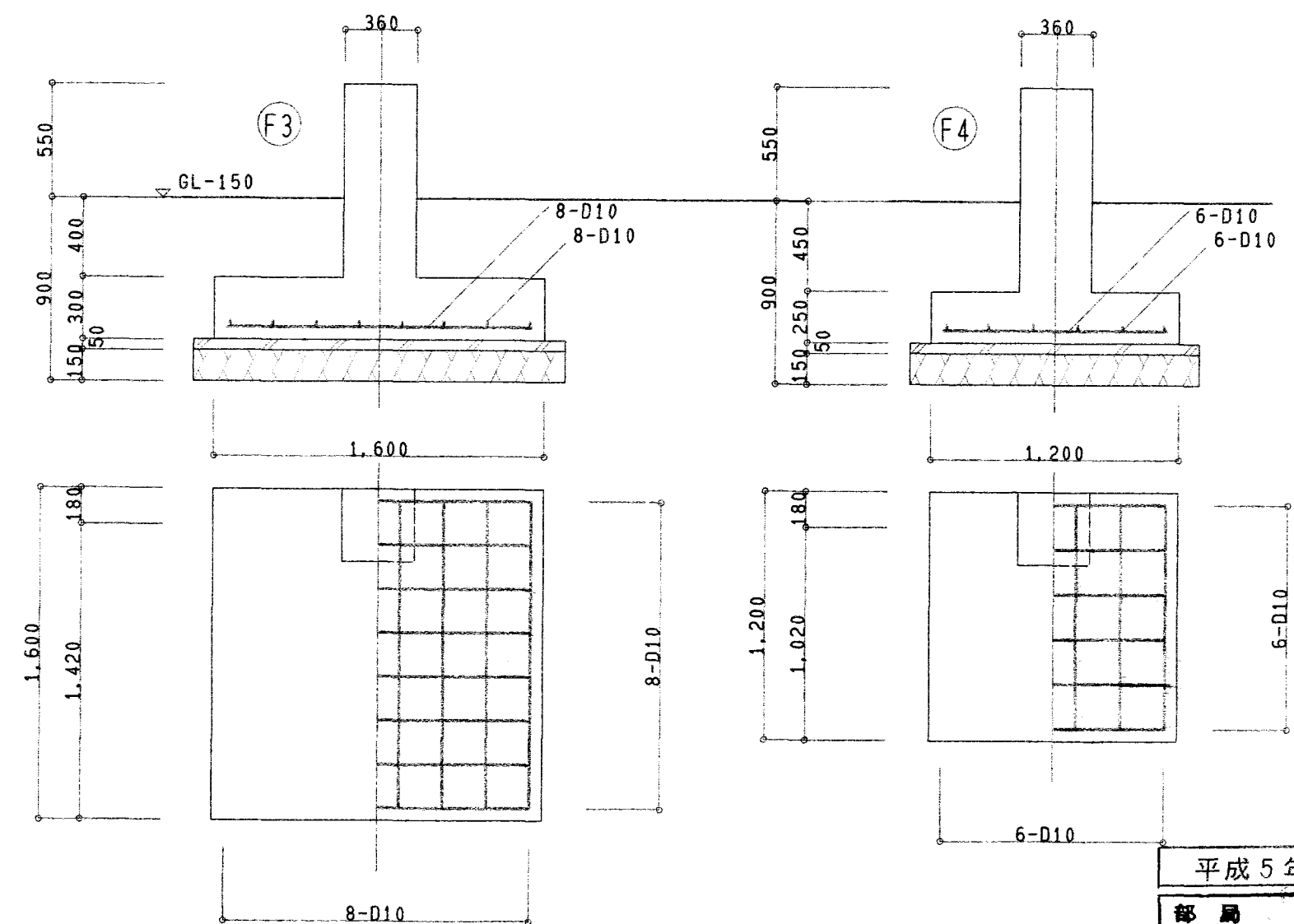
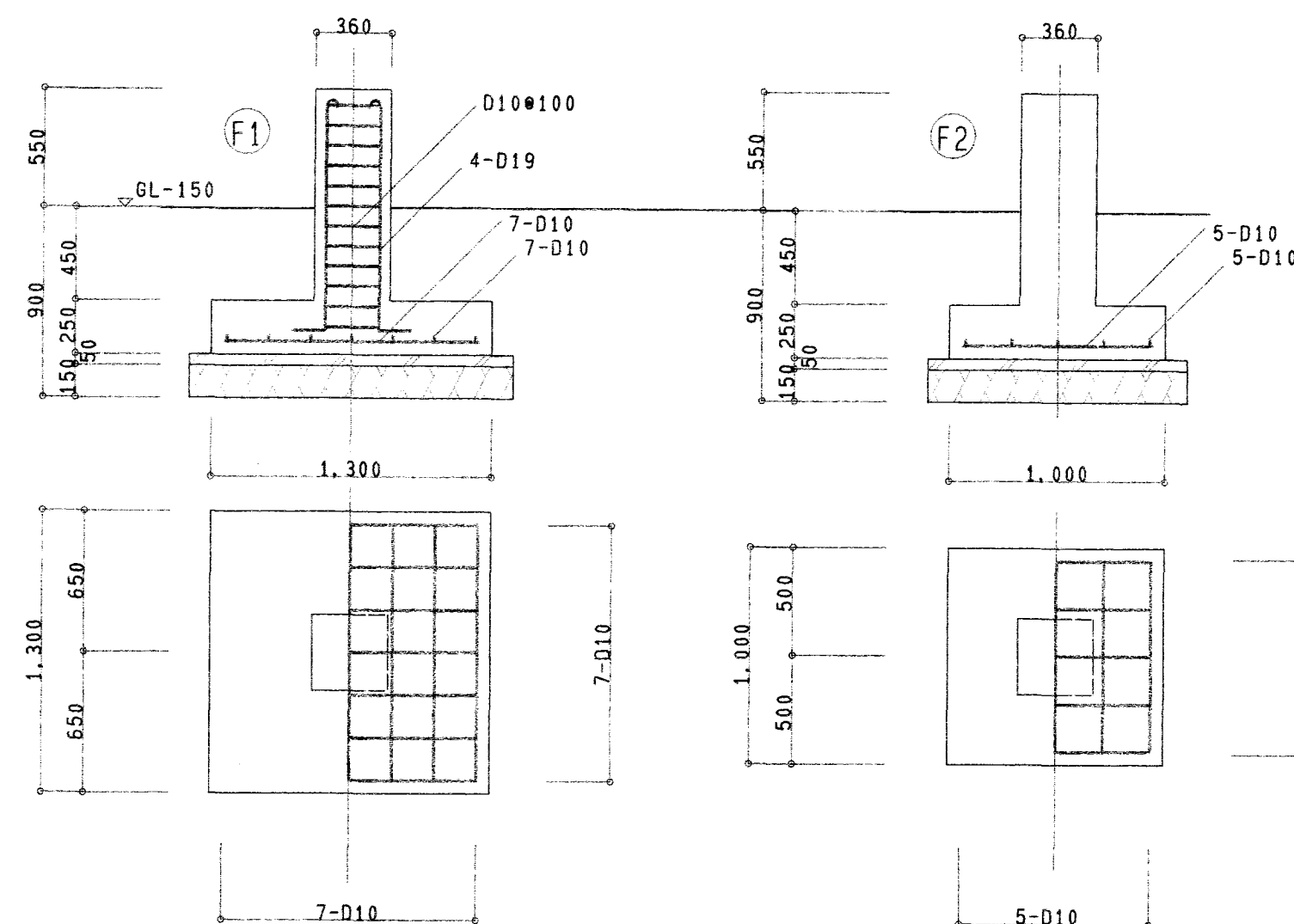


基礎伏図 1/100

コンクリート $F_c = 160 \text{ Kg/cm}^2$ 地中梁
 $F_c = 180 \text{ Kg/cm}^2$ 土間
 $F_c = 210 \text{ Kg/cm}^2$ 基礎、地中梁
 鉄筋 SD295A



壁筋配筋詳細図 1/30



基礎詳細図 1/30

地中梁リスト 1/30

符号	FG1		FG2
位置	両端部	中央	全断面
断面			
B x D	300X600		300X500
主筋	上筋	3-D19	2-D19
	下筋	3-D19	2-D19
スターラップ	□-D10#200		□-D10#200
腹筋 幅止×筋	2-D10 7-D10#1000		

柱断面リスト 1/30

符号	C1
断面	
X x Y	360X360
主筋	4-D19
フープ	□-D10#100
Dフープ	X-D10#600
備考	

平成5年

部局

01

コード

180105

図番

A-28

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
 株式会社 足立建築設計事務所
 境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
 管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印 担当 作図 作図 5年8月日
 SCALE 1/100 1/30

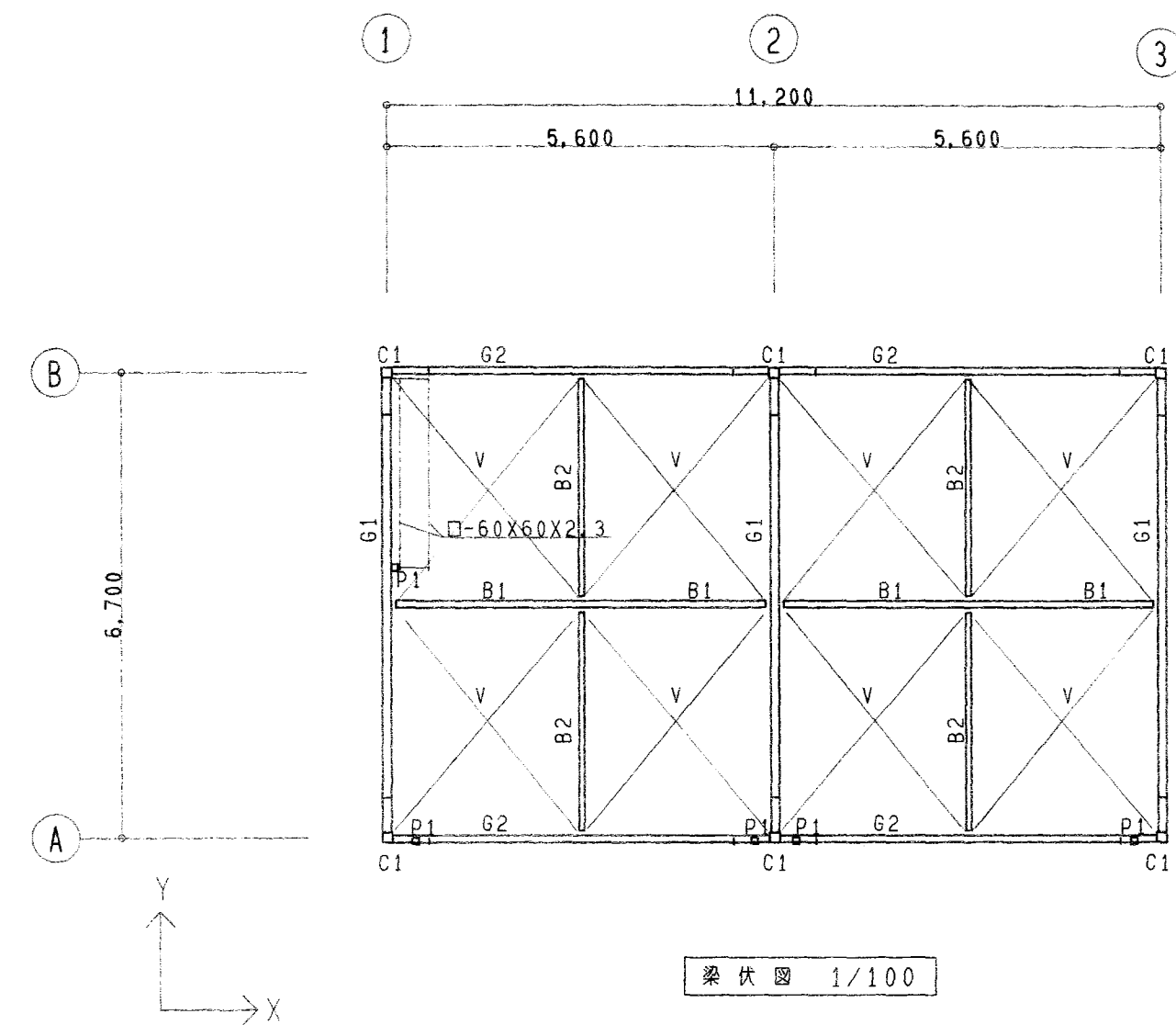
工事名 米子保健所犬管理所新築等工事
 図面名 (車庫棟)
 基礎伏図、基礎詳細図、地中梁リスト

A 28

34

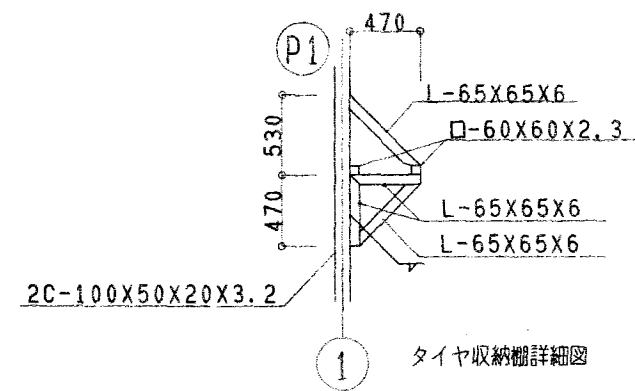
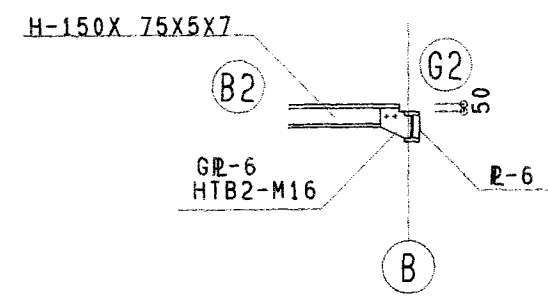
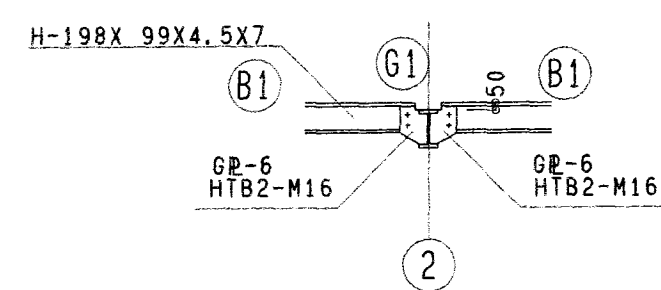
部 材 リ ス ト

符 号	部 材	継手 及 仕口
C1	□-150X150X6	B丸-12X 280X 280 AB4-M16 L=620 DN フック付
G1	H-248X124X 5 X8	J-1 F) 2丸-9X120X285 4丸-9X 45X285 W) 2丸-6X170X165 HTB16-M16 HTB4-M16
G2	H-198X 99X4.5X7	J-2 F) 2丸-12X100X285 HTB16-M16 W) 2丸-6X140X165 HTB4-M16
B1	H-198X 99X4.5X7	G丸-6 HTB2-M16
B2	H-150X 75X 5 X7	G丸-6 HTB2-M16
P1	2C-100X50X20X3.2	B丸-9X140X230 AB2-M12 L=450 DN フック付 2G丸-6 BN2-M16
V	RB-M16	G丸-9 FB-50X6 HTB1-M16 TB付
折版受	C-100X50X20X2.3	
オーバースライダー受	2C-100X50X20X3.2	止×2丸-6 BN2-M12
鉄 骨	SS-400 SSC-400 STKR-400	
ボルト	HTB F10T SS 400	

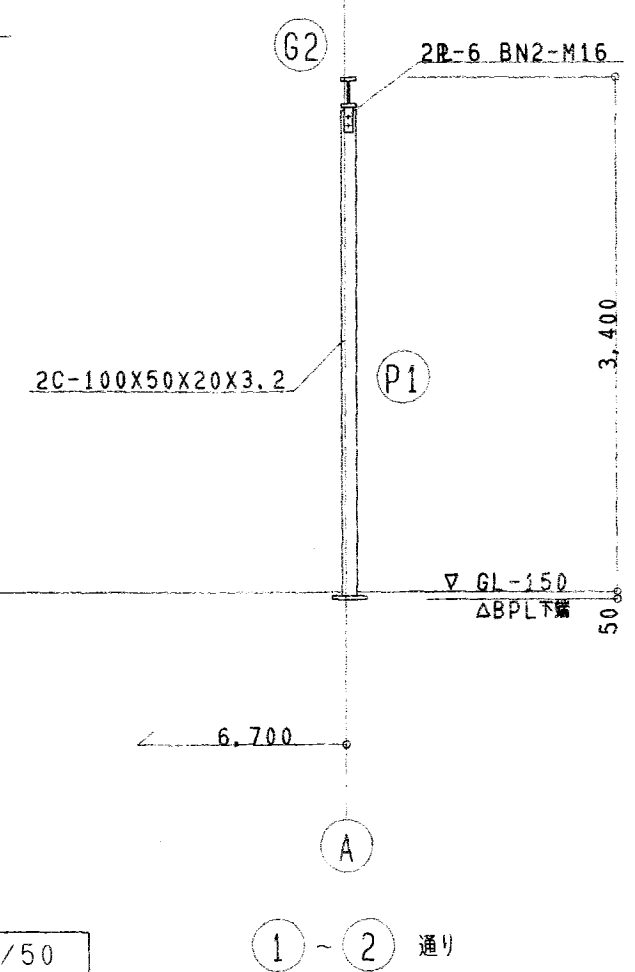
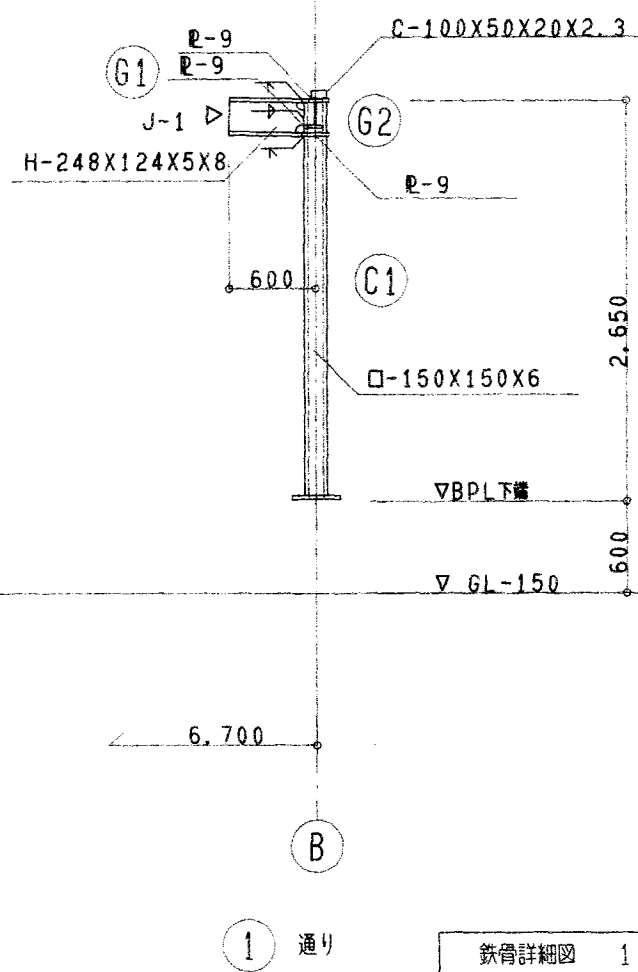
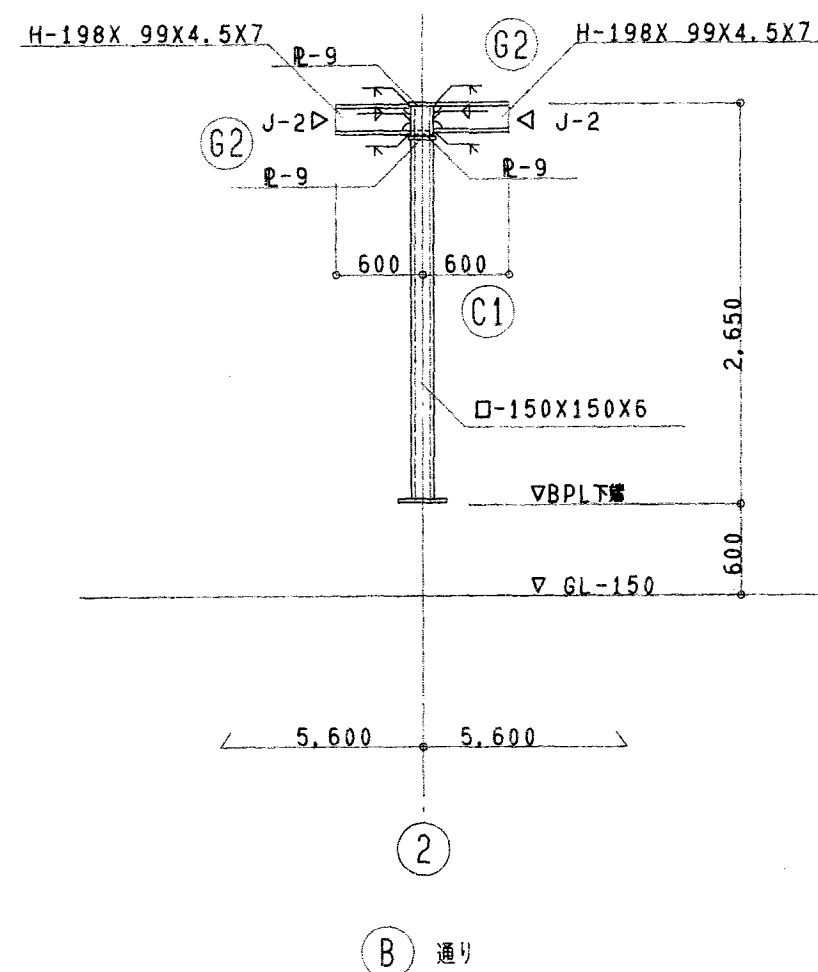


柱脚B丸リスト 1/30

符 号	C1	P1
鉄 骨	□-150X150X6	2C-100X50X20X3.2
B. 丸	B丸-12X280X280	B丸-9X140X230
A. B	AB4-M16 L=620 DN フック付	AB2-M12 L=450 DN フック付
備 考		



タイヤ収納詳細図

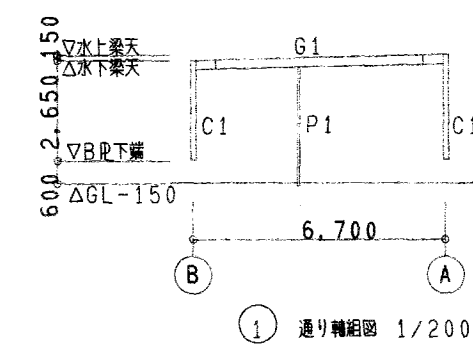


② 通り

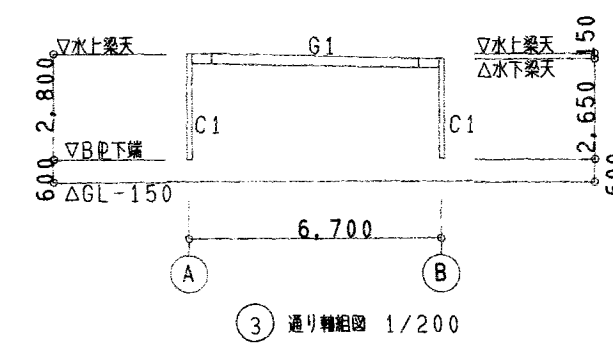
① 通り

鉄骨詳細図 1/50

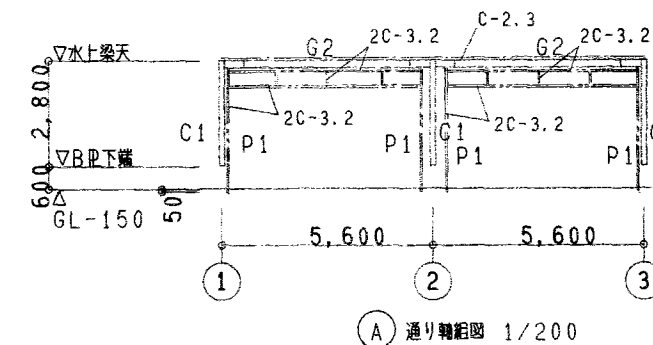
① ~ ② 通り



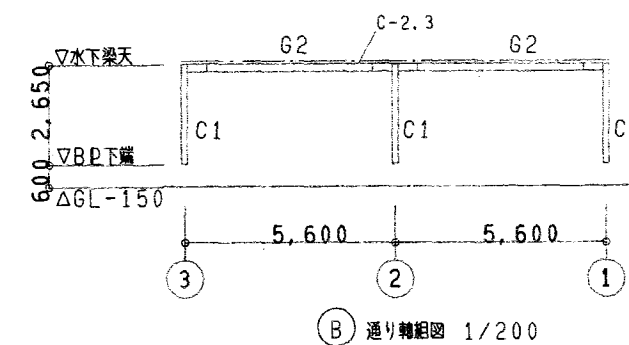
① 通り詳細図 1/200



③ 通り詳細図 1/200



② 通り詳細図 1/200



③ 通り詳細図 1/200

平成 5 年

部 局

01

コード

180105

図 番

A-29

A 29

34

—— C-100X50X20X2.3
—— 2C-100X50X20X3.2

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
株式会社 足立 建築設計事務所
 境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
 管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印	担当	作図	作図	5 年 8 月 日
				SCALE 1/200 1/100 1/50 1/30

工事名	米子保健所犬管理所新築等工事
図面名	(車庫棟) 部材リスト、梁伏図、軸組図、柱脚B丸リスト、鉄骨詳細図

工事仕様書

(I) 工事概要

1. 工事場所 米子市 西福原
2. 建物概要 構造 RC1階 延べ面積 120.48㎡
3. 工事種目

(1) 犬舎等機械設備（建築工事）

(1-1) 犬房機械設備

(1-2) 子犬・猫室

(2) 追込装置機械設備（建築工事）

(2-1) 追込装置

(3) 安楽死処分設備（電気設備工事）

(3-1) 安楽死処分装置

(4) 電気計装設備（電気設備工事）

(4-1) 電気計装設備

(5) 脱臭機械設備（機械設備工事）

(5-1) 脱臭装置

(5-2) 付帯装置・ダクト工事
4. 適用法規

・動物の保護及び管理に関する法律、 ・同 鳥取県条例

・狂犬病予防法

・労働安全衛生法 ・高圧ガス取締法 ・公害防止法

(II) 工事仕様

1. 共通仕様 (1) 図面、特記仕様書及び現場説明書に記載されていない事項は下記による。

建設大臣官房官庁営繕部監修
機械設備工事共通仕様書、同 標準図（平成元年版）
電気設備工事共通仕様書、同 標準図（平成元年版）

- (2) 運転指導 工事完成後請負者による運転指導を行う。

2. 設備概要

- (1) 犬舎等機械設備

(1-1) 犬房機械設備 5室

①構造
No1～No5室の間口を作業通路に並べる並列方式。
各室は手押し走行の前面フェンス、両側の仕切フェンス、リモコン操作で開閉するスライドゲートを備える
後面フェンスによって区画される。
前面フェンスには親子式作業扉、反転式フィーダー（給餌給水器）このフィーダーは清掃時には全排出できる
角度まで反転する構造とする。

②主要部材・材質

格子部は全てφ12、ピッチ60
柱・桁 ㊦75×t2、前面フェンス本体 ㊦60×t1.5
扉 ㊦50×t1.5、フィーダー R t1.5
後面フェンスゲート枠 ㊦35×t1.5、R t1.5両面張
仕切フェンス腰部 ㊦75×45×t1.5、R t1.5両面張
以上全SUS304
前面フェンス走行ハンガー部 ㊦75×t2.3、㊦60×t2.3
仕切フェンスベース板 R t6
以上SS400
後面フェンス駆動部品 S25C、SS400

③動力

スライドゲート用ブレーキ付減速電動機 各0.2Kw

(1-2) 子犬・猫室

①構造

犬房と同寸法の区画室をフェンス固定として組立てる。
作業通路、追込通路に通ずる作業扉を各々設ける、室内に
猫ケージを収納する3列3段の棚（ラック）を設置する。

②主要部材・材質

犬房と同じ。追込通路側の腰部は ㊦35×t1.5、R t1.5
柱ベース板（床埋設）はSS400、その他全SUS304

(2) 追込装置機械設備

- (2-1) 追込装置 1式

①構造

手動走行式の懸垂バランス型追込機本体とその走行用ガイド
レール及び処分機との取合い部を囲む前室パネルから成る。
追込機前面は処分機の扉の回転に合致するよう湾曲しており、
また手押し走行中、前方の目視監視をするためにサイトグラス
を上、中、下の3位置に計4ヶ設ける。
前室パネルは処分機の入口部分を囲む形で設ける追込通路の
末端部であり腰部はパネル状、上部は格子状とする。作業用
扉を1ヶ所に設ける。

②主要部材・材質

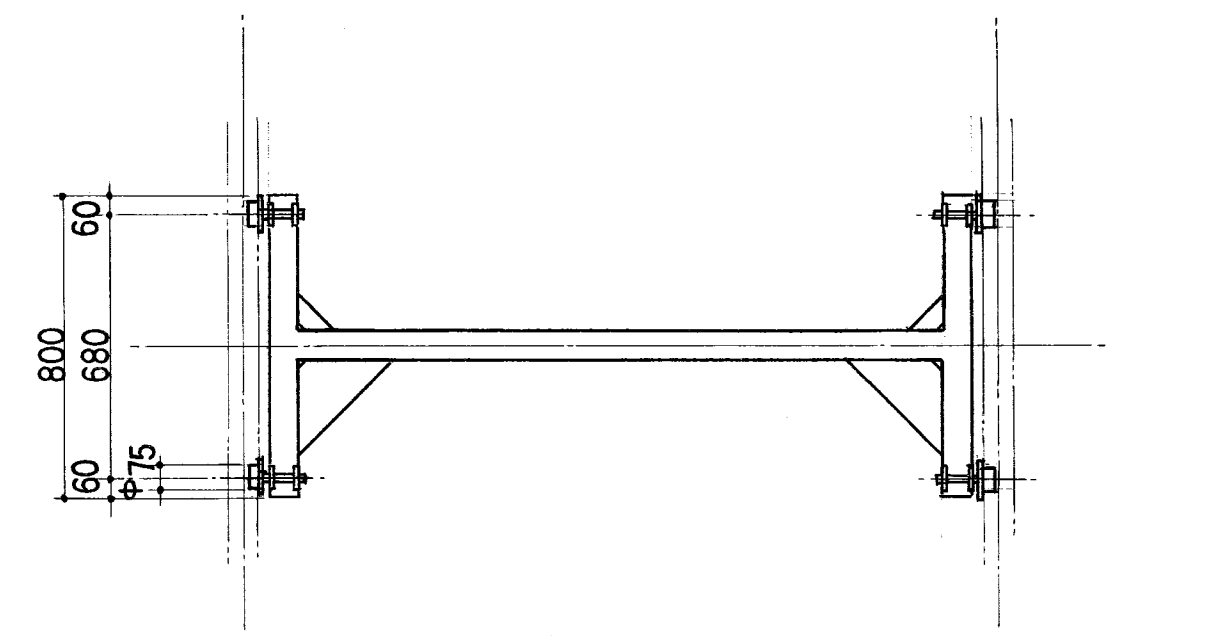
追込機本体前面（追込板）R t1.5（SUS304）
サイトグラス t4（透明アクリル）
同 本体フレーム ㄥt4×50、R t4.5、t6
ガイドレール [100×50×5、R t6
（以上SS400）
前室（全SUS304） 格子φ12、ピッチ60
㊦50×t1.5、R t1.5、ㄥt4×50

平成5年

部 局
01
図 番
180105
図 番
A30

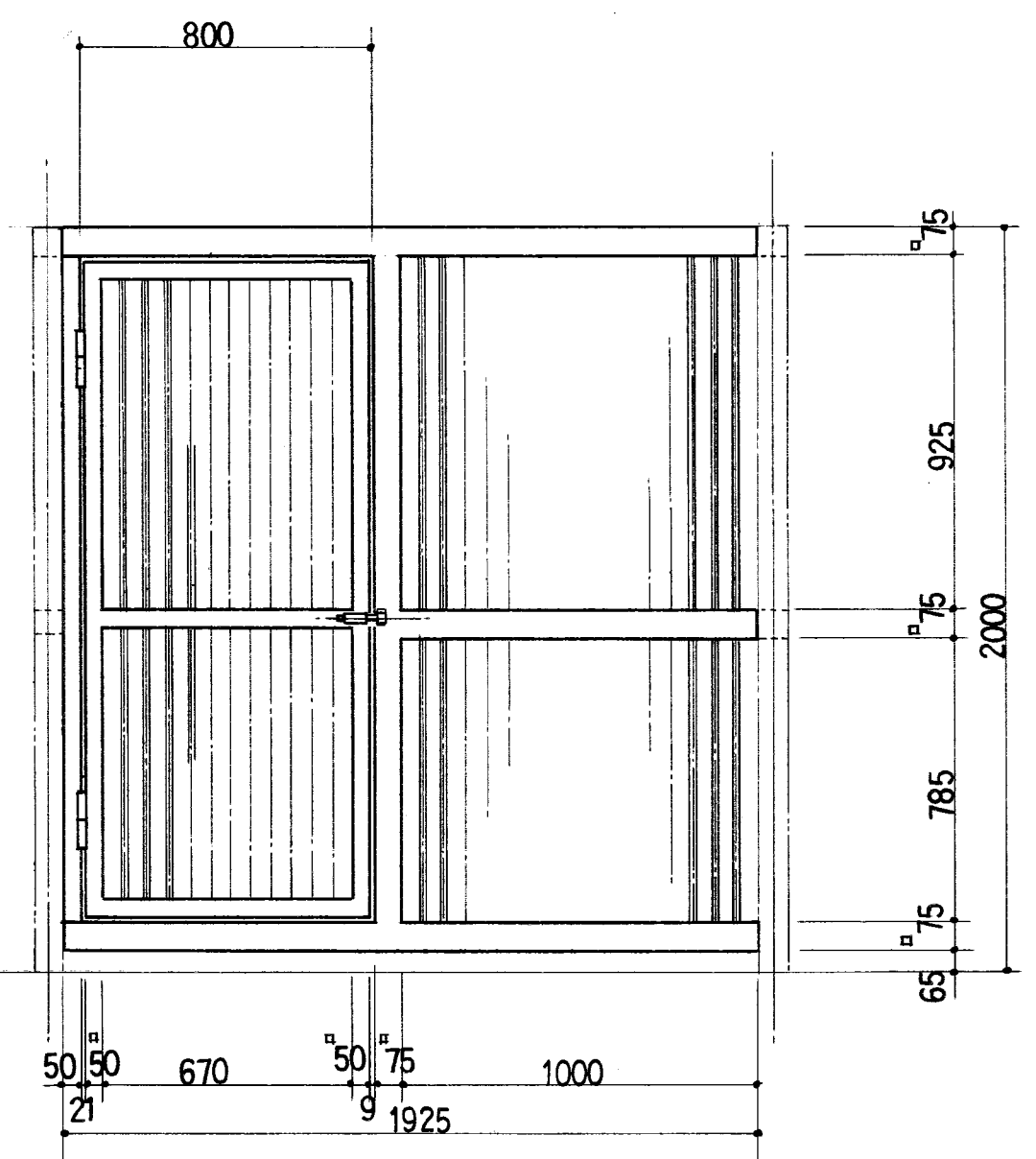
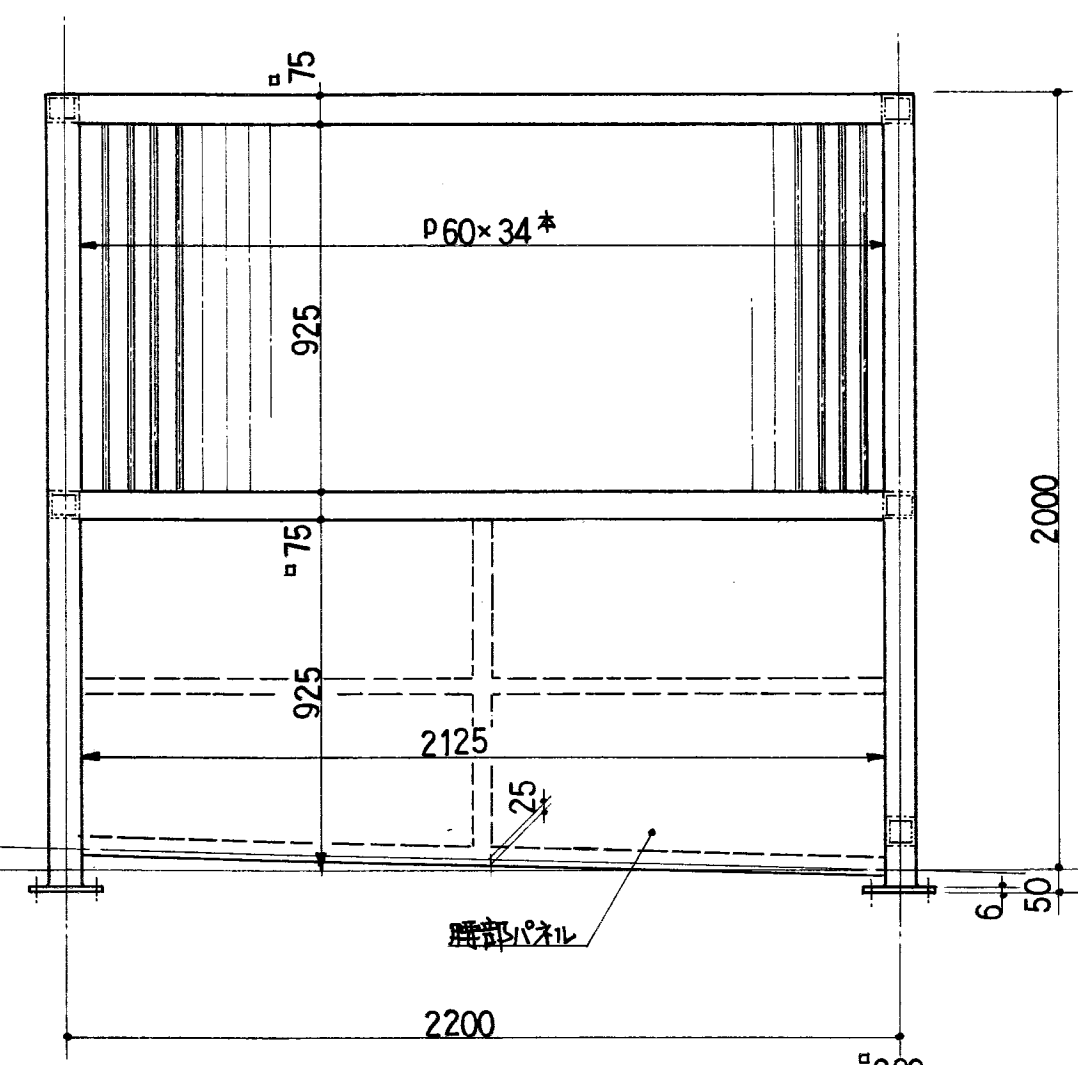
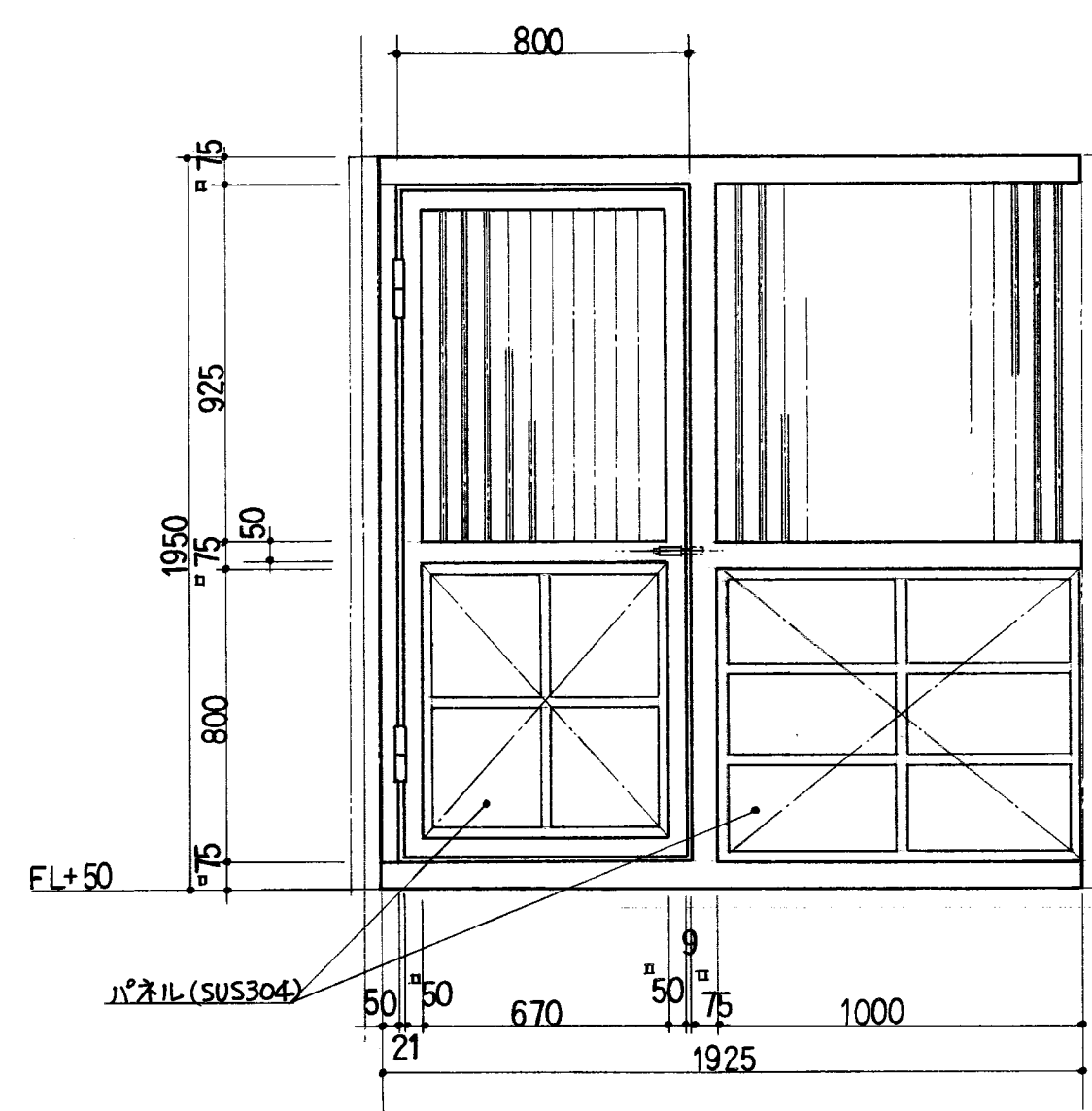
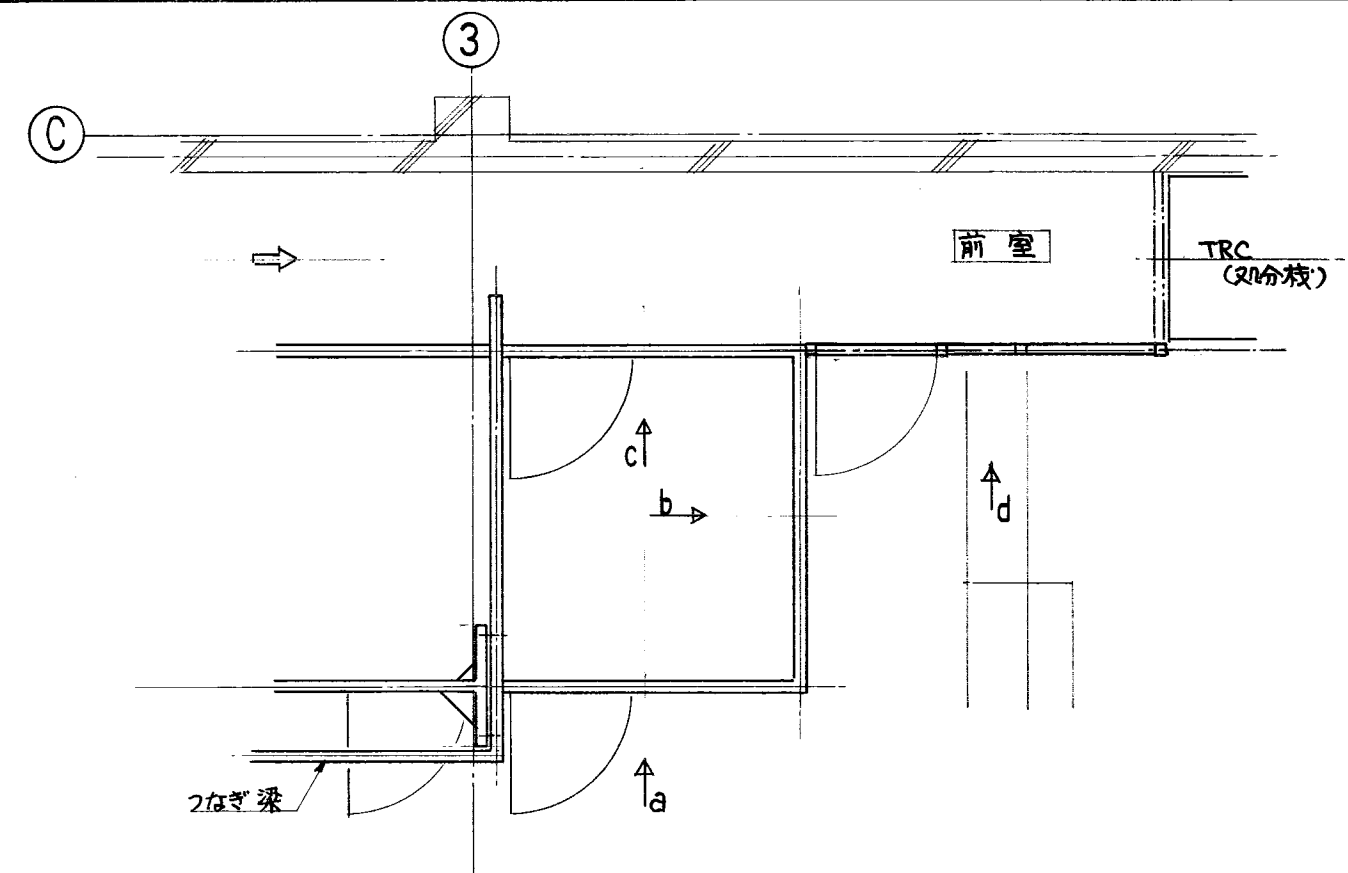
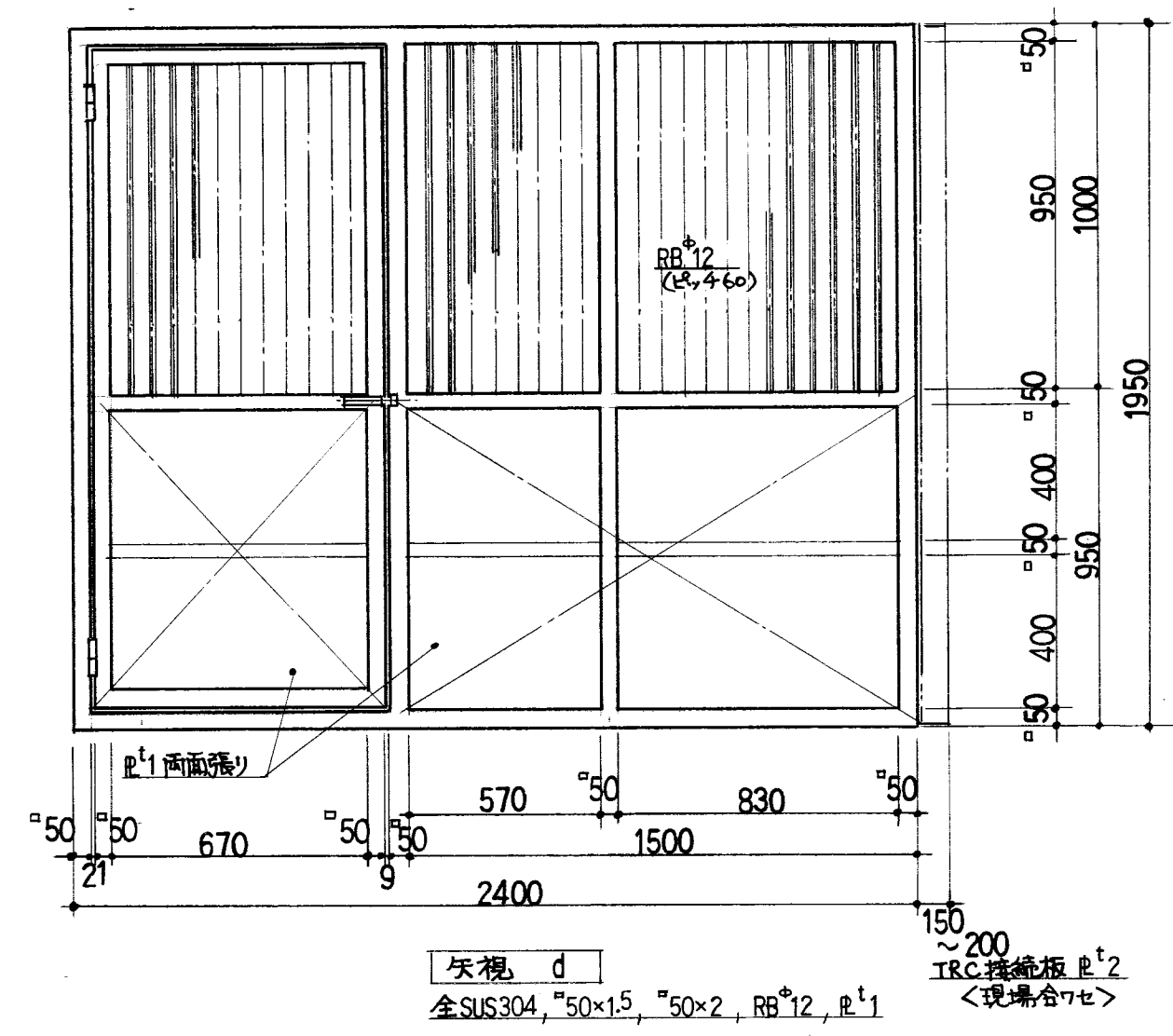
株式会社 エクス・プラン

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号				検印	担当	作図	作図	5 年 8 月 日	工事名	米子保健所犬管理所新築等工事	A 30 / 34
株式会社 足立 建築設計事務所								SCALE			
境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358											
管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩											



平成5年
第 局
01
No.
180105
番
A32

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号 株式会社 足立建築設計事務所 境港市福定町494 TEL(0859)42-2945 FAX(0859)44-3358 管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩 検印 担当 作図 作図 5 年 8 月 日 SCALE 1/20 工事名 米子保健所犬管理所新築等工事 図面名 (犬房仔犬猫室及び追い込装置設置工事) 犬房フェンス詳細図	A 32 34
--	-----------------------



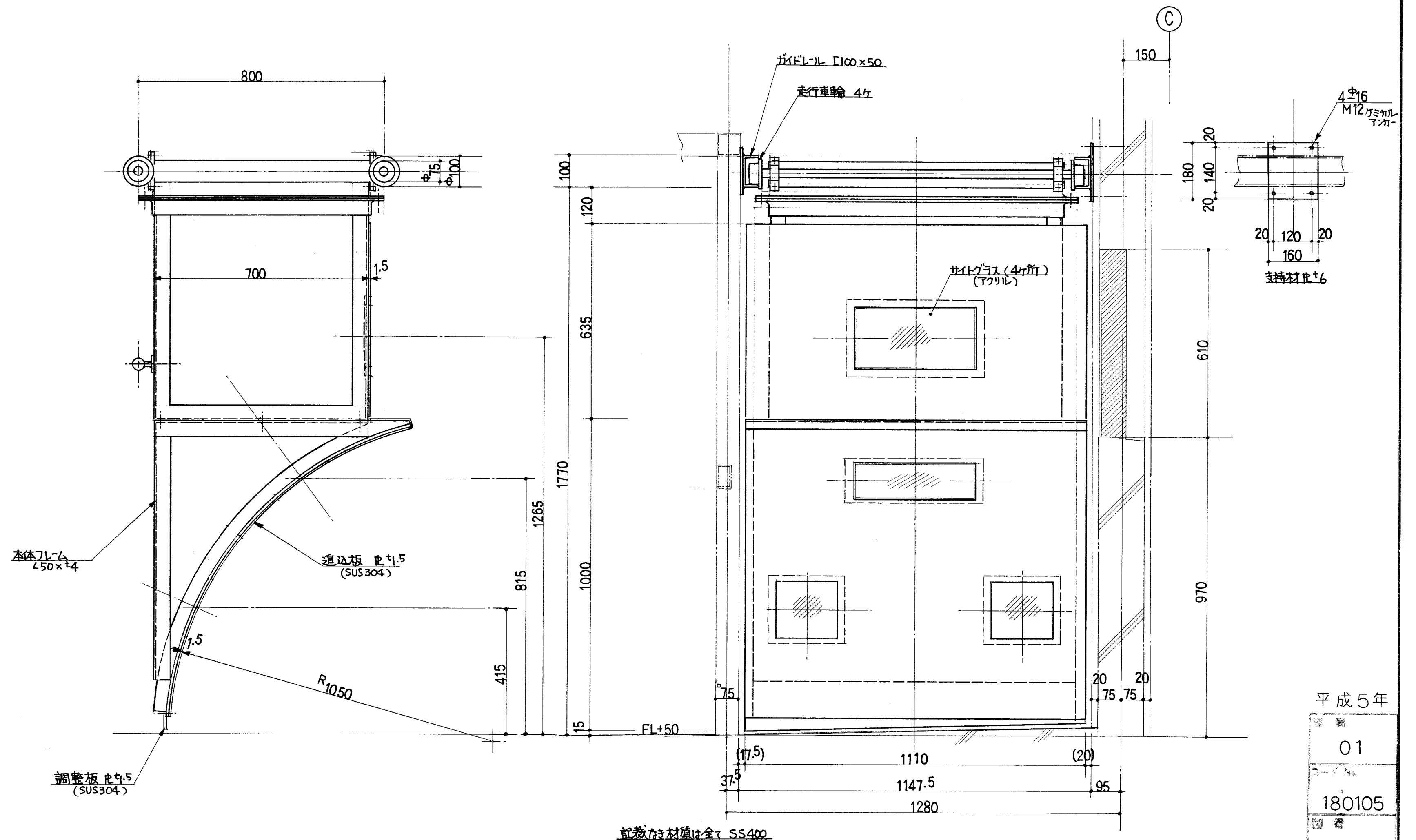
矢視 c
75×2, RB^φ12, 50×1.5
脚部 35×1.5, R^t1.5, パネル片面張り
全 SUS304

矢視 b
75×2, RB^φ12 (本体)
75×45×1.5, R^t10 (パネル)
以上全 SUS304
Base R^t6 SS400
4-20 (M16 マンカー)

矢視 a
75×2, RB^φ12, 50×1.5
全 SUS304

平成5年
01
180105
A 33

	一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号 株式会社 足立建築設計事務所 境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358 管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩	換印 担当 作図 作図 5年8月 日 SCALE 1/20	工事名 米子保健所犬管理所新築等工事 図面名 (犬房仔犬猫室及び追込装置設置工事) 仔犬猫室フェンス及び処分機前室詳細図	A 33 / 34
--	--	--	---	------------------



平成5年

01

180105

A 34

一級建築士事務所 登録番号 鳥取県第3-214号
 株式会社 足立建築設計事務所
 境港市福定町494 TEL (0859) 42-2945 FAX (0859) 44-3358
 管理建築士 一級建築士登録番号 145774 足立 浩

検印 担当 作図 作図 5年8月 日
 SCALE 1/10

工事名 米子保健所犬管理所新築等工事
 図面名 (犬房仔犬猫室及び追込装置設置工事)
 追込機 (GFT-1000) 詳細図

A 34
 34